

実践資料編

P 1~20 小学部

P21~24 中学部

P25~53 高等部



【単元シート】	指導の形態	各教科等を合わせた指導(遊びの指導)	学部・学年・題材/単元名	小学部1年 感触あそびをしよう	時数	10	期間	09/21 ~ 10/21	記入者(TT)	加藤 有美、佐々木 耕太
---------	-------	--------------------	--------------	-----------------	----	----	----	---------------	---------	--------------

単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
①いろいろな素材の感触や特性に親しみ、素材の形状が変化すること、その感触の違いに気付く。 ②手指や体全体を使って楽しく遊ぶ。 ③教師や友達と関わりながら、一緒に活動することを楽しむ。	知	①【生活:小学部:1段階】身の回りの遊びや遊び方について関心をもつこと。	
	思	②【生活:小学部:1段階】身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぶこと。 ③【図工:小学部:1段階】材料などから、表したいことを思い付くこと。	
	主	④【生活:小学部:1段階】自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科
1	9/21	オリエンテーション ・感触遊びの4つの活動の内容を知り、学習活動への見通しを持つ。 ・感触遊びの歌を歌う。	○テレビに活動の内容を提示し、学習の見通しを持つことができるようにする。 ○児童が親しみやすい歌を歌い、楽しい雰囲気作りをする。	生 図
2 3	9/25 9/28	こなこなランドで遊ぼう(小麦粉) ・小麦粉に触りサラサラの感触を楽しむ。小麦粉に水を混ぜて感触の変化を楽しむ。 ・小麦粘土に食紅を混ぜて、色の変化を楽しむ。	○小麦粉の色や感触の変化に気付くことができるよう、見本用に数種類の小麦粘土を準備しておく。 ○手や腕に粉を擦りつけたり、押しつけたりして粉の感触を楽しむことができるようにする。 ・手の汚れが気になって活動が中断しないように、各児童の手元にお手拭きを用意しておく。	生 図
4 5	9/29 10/2	ぷるるんランドで遊ぼう(片栗粉スライム) ・片栗粉と水で片栗粉スライムを作る。 ・片栗粉スライムを触ったり混ぜたりして色の変化を楽しんだり、型抜きをしたりして遊ぶ。	○教室の床にビニールシートとたらいを用意し、体全体で感触を楽しめるようにする。 ・直接触ることのできない児童は、無理強いをせず、ジップ袋の上から寒天を触ったり、スプーン等を使って楽しんだりできるようにする。	生 図
6 7	10/3 10/4	くしゅくしゅランドで遊ぼう(新聞紙) ・新聞紙を破いたり、丸めて投げたりして遊ぶ。 ・新聞紙をちぎり、ばらまいたり、飛ばしたりして遊ぶ。	○広げた新聞紙に向かって走って体で破いたり、丸めて投げたりする遊びを通して、新聞紙の形状の変化や音や感触を体全体で味わえるようにする。 ○教師と一緒に新聞紙をちぎることで、新聞紙の形状の変化に気付くことができるようにする。ちぎった新聞紙を送風機で飛ばしたり、容器に詰めたりすることで、様々な遊び方を体験できるようにする。	生 図
8 9	10/5 10/12	ぺたぺたランドで遊ぼう(絵の具) ・絵の具を指で触って色を混ぜ、画用紙と模造紙に絵を描く。 ・絵の具を手や足に付け、絵の具の感触を楽しむとともに手や足を使って絵を描く。	○手や足に絵の具を付けて十分に感触を味わえるようにする。 ○児童全員で模造紙に絵の具で模様を付け、ボディペインティングの共同作品を作る。 ・床にビニールシートと画用紙を敷き、汚れてもよい服装で実施する。	生 図
10	10/13	リクエストタイム ・4つの活動(ぷるるん・こなこな・ぺたぺた・くしゅくしゅ)の中から自分がもう一度遊びたい活動を選んで遊ぶ。	・事前に児童の希望を把握しておく。学習評価の結果を基に、遊びに没頭したり、遊びの種類を広げたりすることができるように、教材の準備をしておく。	生 図

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	
・こなこな、ぷるるん、ぺたぺたランドでは、少人数であったが、教室にビニールシートを敷いたり、壁に模造紙を貼ったりして、教室を大きく使って、自由に、ダイナミックに活動することができた。その中で、教師が予想しなかった遊び方も生まれ、一人一人が楽しむ様子が見られた。	
・くしゅくしゅランドでは、2年生と一緒に大量の新聞紙を使って、教師が提示した様々な遊びに楽しく取り組むことができた。	

個	教科	本単元における個別の目標	評価			メモ欄(配慮・具体的な姿など)
			知	思	主	
A	図工	教師や友達が表現した形や線、色、模様などを手掛かりに、自分なりの表現のイメージを広げることができる。	◎	◎	◎	◎:達成できた ○:概ね達成できた △:達成には至らなかった
B	生活	教師の働き掛けを受け入れたり、友達の様子を見たりして繰り返し遊ぼうとする。	◎	◎	○	
C	生活	様々な素材を使った遊びに関心を持ち、遊び方を工夫することができる。	◎	◎	○	

個別の指導計画で策定している主な評価場面

教科等 ・主な指導場面	A	B	C
生活 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階サ(イ)「育てよう、見てみよう」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階カ(ア)「頑張ろう運動会」「頑張ろう学習発表会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階イ(イ)「昼の活動」ほか 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階ケ(ア)「なかよく遊ぼう」「1年生になったよ」「冬のくらし」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階イ(イ)「昼の活動」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階ケ(ア)「アスレチックランドで遊ぼう」「みずで遊ぼう」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階
国語 ・日常生活の指導 ・生活単元学習 ・国語	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(ウ)?「チャレンジ」「楽しい年の暮れ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Cエ「夏のくらし」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(イ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Aア「婦りの活動」「チャレンジ」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(エ)「夏のくらし」「楽しい年の暮れ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Aイ「朝の活動」「校外学習に行こう」「秋のくらし」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階
算数 ・日常生活の指導 ・生活単元学習 ・算数	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Cア(ア)?「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Dア(ア)「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Cア(ア)?「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A
音楽 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】※(ウ)??をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Bア(ア)「みんなでリズム遊び」「朝の歌」「音楽集会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階	【知識及び技能】※(ウ)??をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Aア(ア)「みんなでリズム遊び」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階	【知識及び技能】※(ウ)??をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Bア(ア)「みんなでリズム遊び」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階
図画工作 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階共通事項(イ) 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階Aア(ア)「夏のくらし」「楽しい年の暮れ」「つくて遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階Bア(ア)「夏のくらし」「冬のくらし」「つくて遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階
体育 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 体育2段階Aア「ほかほか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育2段階Cイ「ほかほか」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育2段階	【知識及び技能】 ○小学部 体育1段階Aア「ほかほか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育1段階Bイ「アスレチックランドで遊ぼう」「なかよく遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育1段階	【知識及び技能】 ○小学部 体育1段階Aア「ほかほか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育1段階Fイ「ほかほか」「みんなでリズム遊び」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育1段階
特別の教科 道徳	○【B-10 友情、信頼】重点目標	○【B-10 友情、信頼】重点目標	○【B-12 規則の尊重】重点目標
特別活動	○【学級活動(2)ウ】	○【学級活動(2)イ】	○【学級活動(2)ウ】

学習評価	知	様々な遊びに関心を持ち、素材の感触や特性に応じた遊びをすることができた。
	思	指先や手の平で素材の感触をじっくりと楽しんだり、体全体を使って表現したりすることができた。
	主	教師と一緒に遊ぶことを中心に、友達と一緒に作品を作ったり、遊びに参加したりすることができた。

【単元シート】	指導の形態	各教科等を合わせた指導(遊びの指導)	学部・学年・題材/単元名	小学部1年 感触あそびをしよう	時数	10	期間	09/21 ~ 10/21	記入者(TT)	加藤 有美、佐々木 耕太
---------	-------	--------------------	--------------	-----------------	----	----	----	---------------	---------	--------------

教科等 ・主な指導場面	1	2	3
生活 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階サ(イ)「育てよう、見てみよう」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階カ(ア)「頑張ろう運動会」「頑張ろう学習発表会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階ア(イ)「昼の活動」ほか 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階オ(ア)「なかよく遊ぼう」「1年生になったよ」「冬のくらし」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階	【知識及び技能】 ○小学部 生活1段階ア(イ)「昼の活動」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 生活1段階ケ(ア)「アスレチックランドで遊ぼう」「みずで遊ぼう」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 生活1段階
国語 ・日常生活の指導 ・生活単元学習 ・国語	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(ウ)㊦「チャレンジ」「楽しい年の暮れ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Cエ「夏のくらし」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(イ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Aア「帰りの活動」「チャレンジ」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階	【知識及び技能】 ○小学部 国語1段階イ(エ)「夏のくらし」「楽しい年の暮れ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 国語1段階Aイ「朝の活動」「校外学習に行こう」「秋のくらし」「チャレンジ」 【学びに向かう力等】 ○小学部 国語1段階
算数 ・日常生活の指導 ・生活単元学習 ・算数	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Cア(ア)㊦「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Dア(ア)「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A	【知識及び技能】 ○小学部 算数1段階Cア(ア)㊦「校外学習に行こう」「チャレンジ」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 算数1段階Bア(イ)「育てよう、見てみよう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 算数1段階A
音楽 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ※(ウ)㊦㊩㊪をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Bア(ア)「みんなでリズム遊び」「朝の歌」「音楽集会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階	【知識及び技能】 ※(ウ)㊦㊩㊪をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Aア(ア)「みんなでリズム遊び」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階	【知識及び技能】 ※(ウ)㊦㊩㊪をまとめています。 ○小学部 音楽1段階Aア(ウ)「なかよく遊ぼう」「みんなでリズム遊び」「夏のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 音楽1段階Bア(ア)「みんなでリズム遊び」 【学びに向かう力等】 ○小学部 音楽1段階
図画工作 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階共通事項(イ) 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階Aア(ア)「夏のくらし」「楽しい年の暮れ」「つくって遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階	【知識及び技能】 ○小学部 図工1段階Aア(イ)「夏のくらし」「冬のくらし」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 図工1段階Bア(ア)「夏のくらし」「冬のくらし」「つくって遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 図工1段階
体育 ・日常生活の指導 ・遊びの指導 ・生活単元学習	【知識及び技能】 ○小学部 体育2段階Aア「ぼかぼか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育2段階Cイ「ぼかぼか」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育2段階	【知識及び技能】 ○小学部 体育1段階Aア「ぼかぼか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育1段階Bイ「アスレチックランドで遊ぼう」「なかよく遊ぼう」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育1段階	【知識及び技能】 ○小学部 体育1段階Aア「ぼかぼか」 【思考力・判断力・表現力等】 ○小学部 体育1段階Fイ「ぼかぼか」「みんなでリズム遊び」「頑張ろう運動会」 【学びに向かう力等】 ○小学部 体育1段階
特別の教科 道徳	○【B-10 友情、信頼】重点目標	○【B-10 友情、信頼】重点目標	○【B-12 規則の尊重】重点目標
特別活動	○【学級活動(2)ウ】	○【学級活動(2)イ】	○【学級活動(2)ウ】

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名	小学部1年 感触あそびをしよう	TI	佐々木 耕太
授業日	10月5日(木)	時間	10:10~10:55	場所	1年1組教室
				本時	8時間/10時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について		
<p>・本学習集団は、男子1人、女子2人の計3人である。知的障害のほか、全員が自閉スペクトラム症を有する。教師の言葉掛けを理解して活動に参加することができる。</p> <p>・本題材では、これまで小麦粉や片栗粉スライム、新聞紙を使った遊びを通して、体全体で様々な感触を楽しんできた。8時間目にあたるこの時間は、それぞれ2時間ずつ学習してきた4つの感触遊びのうち、4つ目の「ぺたぺたランド」の1時間目である。</p> <p>・本時の目標に迫るために、以下の点について配慮する。</p> <p>①主体的に学習に取り組むための教材の準備や場の設定。</p> <p>②友達や教師と一緒に表現を楽しめる活動の設定。</p> <p>③個別の指導計画との関連を意識した単元シートの活用。</p>		
本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
・友達や教師と一緒に、絵の具を使って楽しく遊ぶことができる。	②、③	②、③、④

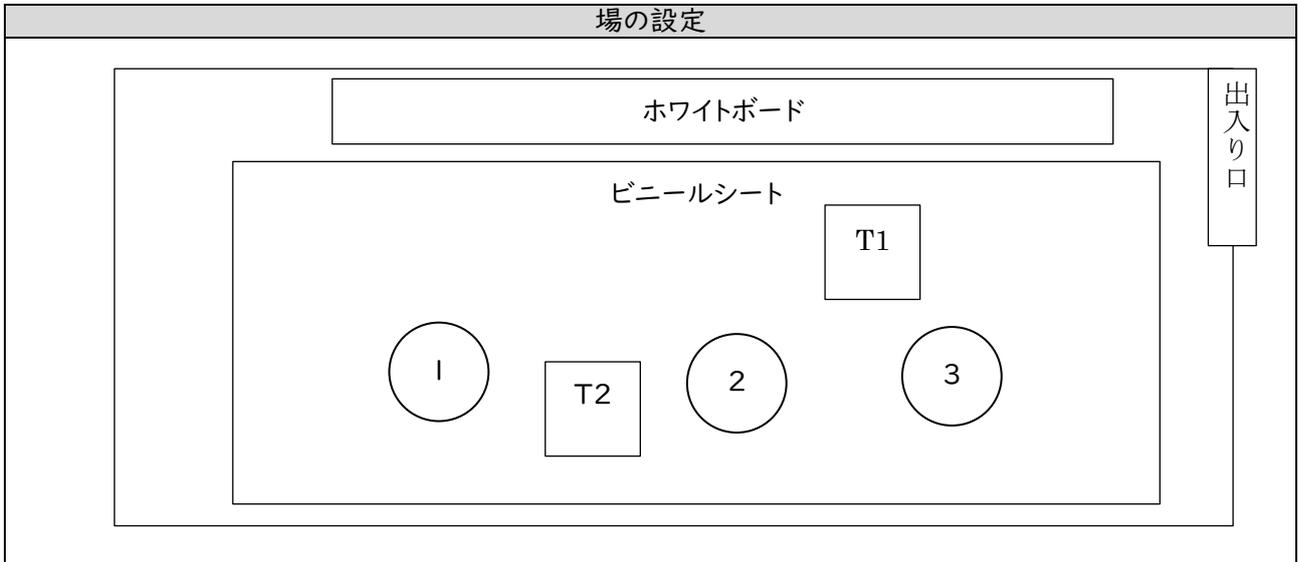
学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1 遊びの内容に関するプレゼンテーションを見て、感触遊びの歌を歌う。(5分)	<p>○感触遊びの4つの活動(ぷるるん、こなこな、ぺたぺた、くしゅくしゅランド)のイメージ画像を提示しながら感触遊びの歌を歌うことで、学習への期待感を高め、楽しく学習に取り組める雰囲気作りをする。</p> <p>○4つの活動のイメージ画像の中から「ぺたぺたランド」の画像を提示し、今日の遊びの内容を視覚的に理解できるようにする。</p> <p>・教室の外で学習を始めることにより、「○○ランドに行く」という意識を高めることができるようにする。</p>	<p>・テレビ</p> <p>・タブレット端末</p> <p>・写真カード</p>
2 絵の具で感触遊びをする。(30分)	<p>・床にビニールシートを敷き、汚れてもよい服装で実施する。</p> <p>○手や足に絵の具を付けて十分に感触を味わえるようにする。</p> <p>○教師が「ぺたぺた」「ぬりぬり」など言葉掛けしながら一緒に絵の具を混ぜたり、塗ったりすることで、絵の具の感触や色の変化に気付くことができるようにする。</p> <p>○児童が楽しみながら遊ぶ姿や、工夫して遊ぶ姿、試行錯誤して表現しようとする姿を見取り、褒めたり、助言したりしながら活動を進める。</p> <p>○教師が楽しみながら遊びの示範を示したり、遊んでいる友達の姿に注目を促したりすることで、教師の指示は最低限に抑え、模倣から遊びを広げることができるようにする。</p>	<p>・絵の具</p> <p>・画用紙</p> <p>・模造紙</p> <p>・ビニールシート</p> <p>・養生テープ</p> <p>・雑巾</p> <p>・段ボールの家</p> <p>・筆や刷毛</p>
3 用具を片付け、終わりの挨拶をする。(10分)	<p>○音楽を掛けることで、授業の終わりに気付くようにし、遊んだ絵の具の片付けを促す。</p> <p>・「あわあわ手洗いの歌」を歌いながら手を洗う。</p> <p>・片付けが終わったら児童を自分の椅子に座るよう働き掛ける。</p> <p>○「たくさん遊んだね。」「楽しかったね。」「片付けも頑張ったね。」「また遊ぼうね。」等、今日の授業に対して肯定的なフィードバックをすることで、次時への意欲を持てるようにする。</p>	<p>・ビニール袋</p> <p>・片付け用箱</p> <p>・石鹸</p>

【授業シート】	学部・学年・題材／单元名	小学部1年 感触あそびをしよう	T1	佐々木 耕太			
授業日	10月5日(木)	時間	10:10~10:55	場所	1年1組教室	本時	8時間／10時間

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

教師と一緒に絵の具で様々な模様を表現する遊びを楽しむことができた。準備した素材や道具に応じて、線を描いたり、イメージした物(虹、ぶどう)を描いたりするなど、それぞれの感性を働かせながら絵の具で表現をすることができた。

場の設定



単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
○金銭と品物のやり取りの学習に取り組むことにより、金銭の取り扱い方を知ることができる。 ○自分の役割に気づき、簡単な役割を果たそうとすることができる。 ○活動を通して教師や友達との関わることの楽しさを味わおうとする。	知	【生活:小:1段階(イ)】金銭の扱い方などに関心をもつことができる。	
	思	【生活:小:1段階(ア)】身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとする。	
	主	【生活:小:1段階ウ】自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	

時	日付	主な学習内容	○手立て	教科
1	11/1	・買い物学習に行くことを知る。 ・持ち物、買い物をするときの約束を確認する。 ・買い物の練習をする。	○テレビに活動内容、持ち物、約束を提示し、活動への見通しを持つことができるようにする。 ○店員とお客さんの役に分かれるようにする。買い物の練習をするときは、本物のお金を使って金銭のやり取りができるようにする。	生
2 3	11/2	・買い物学習に行く。 ・自分の買いたい商品を選んで、購入する。	○お店に行く前に約束を確認し、約束を守って活動できるようにする。 ○購入したい商品を選ぶことが難しかったり、迷っていたりする児童には教師から商品を提示して、選ぶことができるようにする。	生
4	11/8	・サツマイモなどの販売会を行うことを知る。 ・販売会に向けて看板などの制作をする。	○テレビに販売会の内容や本物のサツマイモなどを提示することで活動への見通しを持つことができるようにする。 ○販売会を楽しい雰囲気で行えるように看板や装飾を制作し、期待感を持って取り組むことができるようにする。	生 図
5	11/10	・サツマイモなどの販売会をする。 ※お客さん役に何人か依頼する。	○販売会をするときの約束を確認し、約束を守って取り組むことができるようにする。 ○言葉や身振り手振りを使い、「いらっやいませ。」や「ありがとうございました。」と表現できるようにする。 ○販売する楽しさや商品を買ってもらえる喜びを味わえるようにする。	生
6	11/20	・冬に向けた飾り作りをする。	○秋の次は冬の季節になることを知るができるようにする。 ○意欲的に活動に取り組むことができるようにする。	生

個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
A	知	生1 相手を意識してお金や商品のやり取りをすることができる。	○	◎:達成できた ○:概ね達成できた △:達成には至らなかった
	思	生1 「ありがとうございました。」「お願いします。」等の挨拶の言葉を場面に応じて言うことができる。	○	
	主	生1 教師の関わりを受け入れながら、友達と一緒に活動することができる。	◎	
B	知	生1 金銭のやり取りによって商品を購入することができる。	◎	
	思	生2 自分の役割を理解し、その役割を最後まで行うことができる。	○	
	主	生1 教師や友達とのやり取りを楽しんで取り組もうとする。	◎	
C	知	生1 相手を意識してお金や商品のやり取りをすることができる。	○	
	思	生1 店員と客の役割を知り、お金や商品を丁寧に扱うことができる。	○	
	主	生1 友達の活動の様子を見て、同じ場所で一緒に活動することができる。	○	
D	知	生1 教師と一緒に金銭を扱うことができる。	○	
	思	生1 集団の中の役割を知り、教師と一緒に行動することができる。	◎	
	主	生1 教師と一緒に様々な人と関わろうとする。	○	
E	知	生2 金銭のやり取りを通して、商品の購入ができることを知る。	○	
	思	生2 自分の役割を理解し、最後まで役割を果たすことができる。	○	
	主	生2 教師や友達と言葉でのやり取りを楽しんで取り組もうとする。	○	
F	知	生1 お金や商品のやり取りをすることができる。	?	
	思	生1 役割を知り、その役割を教師と一緒に丁寧に行動する。	?	
	主	生1 友達の活動の様子を見て、一緒に活動しようとする。	?	
G	知	生1 商品や金銭のやり取りの方法を知ることができる。	?	
	思	生1 教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。	?	
	主	生1 教師や友達とのやり取りを楽しんで取り組もうとする。	?	
H	知	生1 金銭の取り扱い方を知ることができる。	○	
	思	生2 集団の中の役割に気づき、自分の役割を行うことができる。	○	
	主	生1 教師や友達との関わりを楽しもうとする。	○	

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	
・金銭の取り扱い、様々な人との関わりを重きに置いて単元を構成した。活動内容自体は子供たちも意欲的に取り組むことができ、楽しんでいる様子が見られた。1~3時間目で買い物をするときはお金が必要なことや本物の硬貨を使って買い物の練習をしたことが、お店で買い物をするときや販売会で店員役を行ったときに生かすことができたと考える。 ・秋に触れる活動をもう少し取り入れた方が良かった。	

学習評価	知	金銭の取り扱い方を理解することができた。
	思	自分の役割を教師と一緒にいたり、1人でいたりすることができた。
	主	様々な人と関わりを持つことができ、楽しんで活動に取り組むことができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名		小学部2年 秋のくらし		T1	佐藤 翔樹
授業日	11月10日(金)	時間	10:10~10:55	場所	2年1組教室	本時	5時間／6時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

集団は男4人、女子4人の計8人の集団である。知的障害の他にも自閉症やダウン症、脳性まひを併せ有している児童が含まれている。教師の言葉掛けを理解することができ、指示に応じて行動することもできる。

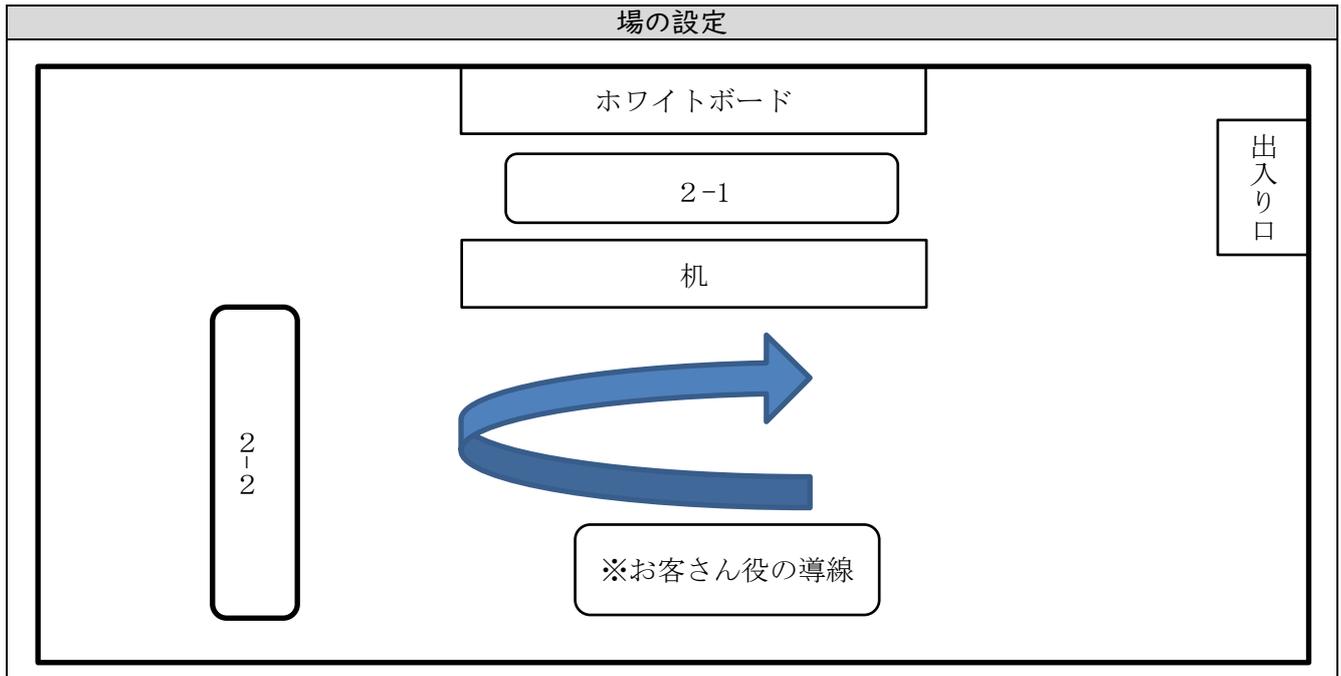
本単元については、買い物学習で校外を歩きながら秋を感じ、お店での約束を守りながら、金銭の取り扱いを学習する。また、秋の風物であるサツマイモを使って販売会を行う。販売会を行うに当たって看板などの制作をすることで、期待感を持って臨むことができるようにする。販売会では、教師や友達とのやり取りを行い、意欲的に取り組むことができるようにする。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動の中で教師と一緒に参加したり、自分の役割を果たそうとしたりする。 ○教師や友達との関わりを楽しもうとする。 	②③	

学習活動(時間)	○手立て・留意点	準備物等
1 始めの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正して挨拶をする。 ○姿勢を正すように言葉掛けしたり、児童の名前を呼んだりすることで教師に注目できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ ・タブレット 端末 ・硬貨 ・サツマイモ
2 本時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビに注目し、本時の学習内容を確認する。 ○店員になって様々な人にサツマイモなどを販売することができるようにする。 	
3 販売会の役割を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビに注目し、自分が何を販売するか知る。 ○児童の写真と販売する物の写真を提示し、役割を確認することができるようにする。 	
4 販売会の約束を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビに注目し、販売会の約束を確認する。 ○お客さんと接するときは、「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」と身振りや手振り、言葉で表現するように促す。また、商品は「優しく渡す。」などの約束を確認できるようにする。 	
5 学級に分かれて販売会をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2-1、2-2の順番で販売会を行う。 ○販売するときは楽しい雰囲気で行えるようにする。また、待っているときは他の学級の様子を見るように促す。 	
6 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で頑張ったことや楽しかったことを発表する。 ○発表するときは、写真などを使って振り返りができるようにする。 	
7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正して挨拶をする。 ○姿勢を正すように言葉掛けしたり、児童の名前を呼んだりすることで教師に注目できるようにする。 	

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名	小学部2年 秋のくらし	T1	佐藤 翔樹			
授業日	11月10日(金)	時間	10:10~10:55	場所	2年1組教室	本時	5時間／6時間

本時の評価	(各教科等の学習評価の視点も踏まえ)
<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に集団に参加したり、自分の役割最後まで果たしたりすることができた。 ・様々な人に自ら関わりを持つことができた、販売会の雰囲気を楽しんで取り組んだりすることができた。 ・事前に活動内容を周知した上で指導過程を作成すれば良かった。 	



単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
(1) 物語に関わる小道具や大道具を作る。 (2) 話の流れが分かりやすい物語に親しむ。 (3) 自分がやりたいことを選んで、物語に関わる遊びを楽しむ。		知	【図2】 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすること。
		思	【国2】 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。
		主	【生2】 自分のこととして取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
活動の流れ					国	A	知 小国1 思 小国1 主 小生1	○ ◎ ○	オリエンテーションのみ出席。テレビに視線を向けて物語に親しむことができた。
1	9/8④	オリエンテーション ・学習の内容を知る。 ・「3匹のこぶた」の絵本を見る。 ・「3匹のこぶた」の歌を歌う。 ・教師による劇遊びを見る。	○活動の流れを提示し、活動の見通しを持てるようにする。 ○絵本を活用しながら、物語の流れ確認できるようにする。 ○教師が歌を歌ったり演技をしたり楽しい雰囲気を作り、物語への興味を引き出したり、期待感を膨らませたりすることができるようにする。 ・それぞれの動物の帽子をかぶることで、演じている役を見て分かるようにする。	国生	B	知 小国2 思 小国2 主 小生2	○ ◎ ◎	「3匹のこぶた」のストーリーを捉えており、小道具・大道具を駆使して目一杯楽しんでいた。歌を口ずさんでいたのも印象的である。	
2	9/13④	・「3匹のこぶた」の映像を見て、物語の内容を知る。 ・「3匹のこぶた」の歌を歌う。 ・3匹のこぶたの家を作る。	○映像を見ながら、どのような登場人物が出てきたかを確認する。 ・教師が登場人物の動きを真似することで、児童の動きにつながるようにする。 ○段ボールに色を塗ったり、厚紙を貼ったり、スズランテープを裂いたりして、こぶたの家を作る。 ・それぞれの家の特徴を感じることができるよう素材や色や形の工夫をする。	図国生	C	知 小国2 思 小国1 主 小生2	◎ ○ ◎	教師の働き掛けに応じて家の中に入ってみたり、家を倒してみたりして楽しんだ。色塗りなどの作りものを楽しんでいた。	
3	9/15④	・「3匹のこぶた」の映像を見る。 ・「3匹のこぶた」の歌を歌う。 ・「3匹のこぶた」の劇遊びをする。	○映像を見て、物語の流れを確認する。 ・話の展開や登場人物の動きを意識できるようにする。 ○自分がやりたいことを選択を促し、意欲的に楽しく取り組めるようにする。 ・好きなことを選んで動きや発声を行うことで、楽しみながら取り組めるように働き掛ける。 ・実態に応じて、木製おもちゃや楽器、マイク、送風機等を用いて物語に関わる遊びができるように工夫する。 ○友達や活動の様子を見合うことで、いろいろな遊びに気付いたり、真似たりすることができるようにする。 ・自分がやりたいことを選んで、物語に関わる遊びに取り組むことができるように、児童に寄り添った支援をする。 ○活動の様子を紹介したり、楽しかったことを発表したりすることで、称賛されたり、充実感を得たりすることができるようにする。	国生	D	知 小国2 思 小国1 主 小生2	◎ ○ ○	教師の働き掛けに応じて家の中に入ってみたり、家を倒してみたりして楽しんだ。色塗りなどの作りものを楽しんでいた。	
4	9/19④			E	知 小国1 思 小国1 主 小生1	◎ ◎ ○	木の家作りでは、教師と一緒ににはけを持ち、手を高く上げて上から下へ茶色の模様を付けた。		
5	9/26④			F	知 小国1 思 小国1 主 小生1	◎ ○ ◎	オオカミの手袋を付けたり帽子をかぶったりすると、友達や教師と一緒に笑顔を見せながら演じ、オオカミ役を楽しむことができた。		
6	10/2③			G	知 小国1 思 小国2 主 小生1	○ ○ ○	教師や友達の様子を見ている時間が長かったが、担任からの言葉掛けに応じて自分がやりたい制作や遊びに取り組むことができた。		
7	10/3③ 研究授業			H	知 小国2 思 小国2 主 小生2	◎ ◎ ◎	劇の歌を覚えたり、オオカミのせりふを言ったり、主体的に遊びに取り組むことができた。段ボール製の家を送風機で倒すことに意欲的に取り組んだ。		
8	10/5④	9	10/12③	I	知 小国1 思 小国1 主 小生1	◎ ○ ◎	段ボールの家を制作する際には、教師と一緒にのりを使用して制作に参加することができた。送風機の風を浴びたり、すずらんテープを触ったりして感覚を楽しんでいる様子が見られた。		
J	知 小国1 思 小国1 主 小生1			◎ ○ ◎	送風機の風で揺れているすずらんテープに手を伸ばし、声や表情で楽しんでいる様子を伝えることができた。オオカミ役では、家を引っ張って倒すことができた。				

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	
○繰り返し取り組むことで、物語の流れを把握し、歌を歌ったりせりふを言ったりすることができた。大型送風機を使って段ボール製の家を倒したことで、物語に関わる遊びをダイナミックに楽しむことができた。 (大型送風機は、児童の意欲が一気に上がる画期的なアイテムであった。しっかり遊び尽くすことができた。) ○うちわや大工さんごっこのおもちゃ、ラミネートしたこぶたの家、藁に見立てたスズランテープなど多様な素材のアイテムを準備したことで、それぞれの児童の実態に応じて遊びを楽しむことができた。 ●遊びを展開する中で、物語の場面絵をスライド等で映しておくことで児童の理解が更に深まったかと思う。 (物語に入り込みすぎると、遊びの本質からずれて「演じる」ことに主眼が傾倒してしまうこともあるので、今回のようなシンプルな場の設定がかわって「遊び」を引き出せて良かったのではとも感じました。)	

学習評価	知	・話の流れが分かりやすい絵本に親しむことができた。
	思	・素材の感触を楽しみながら、劇遊びに3匹のこぶたの家を作ることができた。
	主	・自分がやりたい役を選んで、劇遊びを楽しむことができた。

【授業シート】		学部・学年・題材名		小学部3年 劇遊びをしよう		T1	平塚 志乃
授業日	10月3日(火)	時間	10:25~11:10	場所	3年2組教室	本時	7時間/9時間

本題材に関わる児童の実態及び授業について		
<p>・本学習集団は、男子6人、女子4人の計10人である。知的障害のほか、肢体不自由を併せ有し、さらに自閉症の診断を受けている児童が在籍しており、実態は様々である。どの児童も、見通しを持つことや、繰り返し取り組むことで、意欲的に活動することができる。</p> <p>・劇遊びに関しては、初めて取り組む活動である。児童はこれまで絵本の読み聞かせに親しんだり、友達や教師と一緒に簡単な手遊びや歌遊びをしたりする経験を積み重ねてきた。物語の大体を捉えることができる児童もいれば、音や感触など五感を刺激しながら活動を楽しむことが必要な児童もいる。</p> <p>・物語に関心を持ち、自分がやりたいことを選んで物語に関わる遊びを楽しむことにより、充実感や満足感を味わうことができるようにしたい。児童が楽しみながら活動する姿や自分がやりたいことを選んで取り組む姿などを具体的に称賛しながら即時評価することで、意欲を高めたい。</p>		
本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
<p>○話の流れが分かりやすい物語に親しむ。</p> <p>○自分がやりたいことを選んで、物語に関わる遊びを楽しむ。</p>	(2) (3)	<p>【国2 Cア】</p> <p>【生2 ウ】</p>

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1 はじめのあいさつ (1分)	<p>○音楽(3匹のこぶた)を掛け、児童に授業の始まりを伝える。</p> <p>・児童がベンチの定位置に付いたら、姿勢を正し T1 に注目するように促し、始めの挨拶をする。</p>	TV iPad
2 おはなし (3分)	<p>○本時の活動内容についての説明を行う。</p> <p>①先生の話、②歌、③劇遊び、④振り返り</p> <p>・次第カードを提示しながら、今日の活動の流れを視覚的に理解できるようにする。</p>	次第カード
3 うた (4分)	<p>○3匹のこぶたの歌を教師と一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりして、学習への期待感を高め、楽しく学習に取り組める雰囲気作りをする。</p> <p>・映像を活用しながら、歌とともに物語の流れも確認できるようにする。</p>	TV iPad
4 げきあそび (22分)	<p>○顔写真カードを用いて、遊びの順番の見通しが持てるようにする。</p> <p>○教師が楽しみながらせりふや動きの示範を示したり、活動している友達の姿に注目を促したりしながら、楽しく取り組むことができるよう誘い掛けをする。</p> <p>○児童が楽しみながら活動する姿や自分がやりたいことを選んで取り組む姿などを具体的に称賛しながら即時評価することで、意欲を高める。</p>	顔写真カード 帽子 こぶたの家 木製おもちゃ 楽器 マイク 送風機
5 ふりかえり(4分)	<p>○活動の様子を紹介したり、楽しかったことを発表したりすることができるように働き掛ける。</p> <p>・友達の発表に注目を促し、みんなで称賛し合うようにする。</p> <p>○児童の具体的な姿を称賛しながら全体で共有することで、次時への意欲を高めるようにする。</p>	TV iPad

【授業シート】	学部・学年・題材名	小学部3年 劇遊びをしよう	TI	平塚 志乃			
授業日	10月3日(火)	時間	10:25~11:10	場所	3年2組教室	本時	7時間/9時間

6 おわりのあいさつ (1分) ・姿勢を正し、TI に注目するように促し、終わりの挨拶をする。

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

- 話の流れが分かりやすい物語に親しむことができた。
- 自分がやりたいことを選んで、物語に関わる遊びを楽しむことができた。

主な教材教具	場の設定
次第カード 顔写真カード 帽子 こぶたの家 (一部廊下保管) 木製おもちゃ 楽器 送風機 出入り口	<3年2組教室>

10月3日(火) 欠席予定児童 あい

単元の目標	育成を目指す主な教科等の資質・能力
① リズムに合わせて体を動かす。	知 ①【音:③A 表現エ(ウ)⑦】示範をみたり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能。
② 日本や外国の音楽を聴いて、拍子やリズムを楽しんだり、歌ったりする。	思 ②【音:③A 表現イ(ア)】器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつ。 ③【音:③A 表現ア(ア)】歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。
③ 友達の演奏を静かに聴く。	主 ④【音:③B 鑑賞ア(ア)】鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見出して聴く。 ⑤【小音③】音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を養う。

時数	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	主な教科		
<p>本題材は、「楽器」に関する活動を『器楽』、『音楽づくり』、『鑑賞』の項目の中で重点的に取り扱っていく。主な学習内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度や強弱の違いを意識する。 ・「タンタンタン」「タンウンタンウン」などを意識して演奏する。 ・音を選んだり、つないだりして、簡単な音楽をつくる。 ・音楽を聴いて感じ取ったことを絵や言葉、身体の動き等で表す。 						
		1.【始めの挨拶】…『はじめましょう』に合わせてプッシュベルを鳴らす。 2.【歌唱】 3.【器楽】 4.【音楽づくり】 5.【身体表現】 6.【鑑賞】 7.【終わりの挨拶】…『これでおしまい』に合わせて「おしまい」の手話をする。	『歌唱』『身体表現』『鑑賞』の活動を重点的に取り扱いつつ、『器楽』『音楽づくり』の活動も1単位時間の中で併せて取り扱っていく。			
		歌唱	◎器楽	◎音楽づくり	身体表現	◎鑑賞
1	10月	まっかなあき タヤけ小やけ ☆☆☆	たぬきのたいこ☆☆		赤おにと青おにの タンゴ☆☆☆ おどろうたのしい ポーレチケ☆☆☆	不思議な月夜の 音楽会☆☆
2	11月	☆☆☆	大きなたいこ(サウンドシェイプ) 村まつり(和太鼓)☆☆☆		スケーターズ ワルツ☆☆ 白鳥	
3	12月	おもちゃの ちゃちゃちゃ ☆☆ 大きな歌☆☆☆	オーラリー☆☆☆ (タンブリン、ツリー チャイム、プッシュベル)	きらきら星 ☆☆☆	しろくまの ジェンカ☆☆ おちゃらかほい ☆☆☆	オーケストラの 楽器☆☆☆

個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
A	知	音 タンブリンなどの楽器で模倣してリズムをたたく。	◎	教師の示範を見て、曲に合わせてリズムをたたくことができた。「パン、パン、上～。パン、パン、下～」など模倣して身体表現を楽しむ様子が見られた。
	思	音 教師のまねをして、音楽に合わせて身体表現をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	○	
B	知	音 タンブリンなどの楽器でリズムを意識して模倣してリズムをたたく。	○	自分の好きな曲のときに、リズムを意識して楽器を「パパン、パパン」、「パンパン」と繰り返したたたくことができたようになった。
	思	音 教師の示範を見たり、リズムを意識したりして身体表現をする。	◎	
	主	音 教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	○	
C	知	音 楽譜を見てリズムに気をつけてタンブリンをたたく。	○	教師の歌に合わせてながら、タンブリンを使いリズム打ちを意識しながら行うことができていた。「スケーターズワルツ」の音楽に合わせて、笑顔で回転したりしながら身体表現を行うことができた。
	思	音 教師や友達と一緒に音楽に合わせて身体表現をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
D	知	音 教師と一緒に音楽に合わせて手を動かしたりする。	○	「しろくまのジェンカ」では、教師と一緒に鈴を握って音楽に合わせて左右の手を動かして身体表現を行った。
	思	音 教師と一緒に音楽を聴いて、カスタネットやタンブリンをたたく。	◎	
	主	音 教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
E	知	音 タンブリンを正しく持ち、模倣してリズムをたたく。	○	「スケーターズワルツ」の音楽に合わせて、教師のまねをして両手を振って滑るような身体表現を行った。名前を呼ばれるとすぐに前に出て、笑顔で踊った。
	思	音 教師のまねをして、音楽に合わせて身体表現をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
F	知	音 タンブリンを教師と一緒に正しく持ち、リズムをたたく。	○	「たぬきのたいこ」のリズムが変わるところが分かり、合わせて速くたいた。「スケーターズワルツ」で教師のまねをして足を細かく動かしてくるくる回って踊った。
	思	音 教師や友達のまねをして、音楽に合わせて身体表現をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
G	知	音 音楽に合わせて、手足を動かしたり体を揺すったりする。	◎	歌の音楽を聴いたり、動画を見たりしながら、体を動かすことができた。教師と一緒に、カスタネットや鈴を鳴らして、演奏を楽しむことができた。
	思	音 音楽を聴いて、カスタネットやタンブリンをたたく。	○	
	主	音 教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
H	知	音 教師の合図を手掛かりに、それに合わせて一緒に演奏をする。	◎	教師の合図を見ながら、リズムに合わせて演奏することができた。できることを称賛されることで、演奏や身体表現の楽しさを感じることができた。
	思	音 楽器を使って、拍やリズムに合わせて演奏をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	
I	知	音 楽譜を見てリズムに気をつけてタンブリンをたたく。	◎	友達や教師の演奏を良く見て気をつけようとしていた。「タンタタン」の後一拍空く癖があったが、見本を良く見て改善することができた。
	思	音 曲の雰囲気に合わせて身体表現をする。	○	
	主	音 いろいろな場面で、楽しく歌を歌う。	◎	
J	知	音 タンブリンなどの楽器に集中してリズムをたたく。	○	「タンタタン」などの難しいリズムも曲に合わせて演奏しようとしていた。一曲の間集中することができず、手が止まってしまうことがあった。
	思	音 友達と一緒に音楽に合わせて身体表現をする。	◎	
	主	音 友達や教師と一緒に楽器演奏や身体表現を楽しむ。	◎	

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)
<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の際にマイクを使用することで、大きな声で歌う児童が増えた。 ・打楽器の演奏は、リズム打ちを継続して行ったことで、どの児童にも成長が見られた。 ・教師や友達の身体表現を見ることで、自分も表現してみたいという意欲が高まった。 ・「耳をすまそう」は静かにするだけでなく、周りの音を聴こうとする活動だと捉え直すことができた。

学習評価	学	知	① 拍やリズムを意識して、太鼓やタンブリンなどの楽器を演奏することができた。
習	思	② 絵譜を見たり、示範を聴いたりすることで、リズムの違いに気付き、楽器で表現することができた。	
		③ 曲に合わせて体を動かしたり、楽しそうな表情で歌ったりすることができた。	
		④ 曲や演奏を、踊りながら聴いたり、じっと耳を傾けて聴いたりすることができた。	
主	⑤ 友達と一緒に踊ったり、太鼓やタンブリンの演奏と一緒に演奏したり、音楽活動の楽しさを感じることができた。		

【授業シート】	学部・学年・題材・単元名	小学部45年 音楽「楽器ランド」	TI	服部			
授業日	12月7日(木)	時間	13:10 ~13:55	場所	4・5年生教室	本時	15 / 19 時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

・本学習集団は、男子7人、女子3人の計10人である。全員が知的障害を有しており、中には肢体不自由等の障害や、自閉スペクトラム症を有する児童もあり、障害の種類や程度も様々である。教師の言葉掛けや具体物を提示することで、活動の内容を理解できる児童は多いが、教師が手を添えるなどの支援が必要な児童もいる。

・活動内容について、見通しを持つことで落ち着いて活動できる児童が多い。始めに手本を示したり、他の児童の様子を見せたりしてから、取り組めるようにする。

・これまでの音楽では、曲に合わせて歌ったり演奏したり、体を動かして踊ったりと、音楽の楽しさを味わいながら活動に取り組んできた。本時の目標に迫るために、以下の点について配慮する。

①主体的に学習に取り組むための教材の準備や場の設定。②友達や教師と一緒に音楽を楽しめる活動の設定。③個別の指導計画との関連を意識した単元シートの活用。

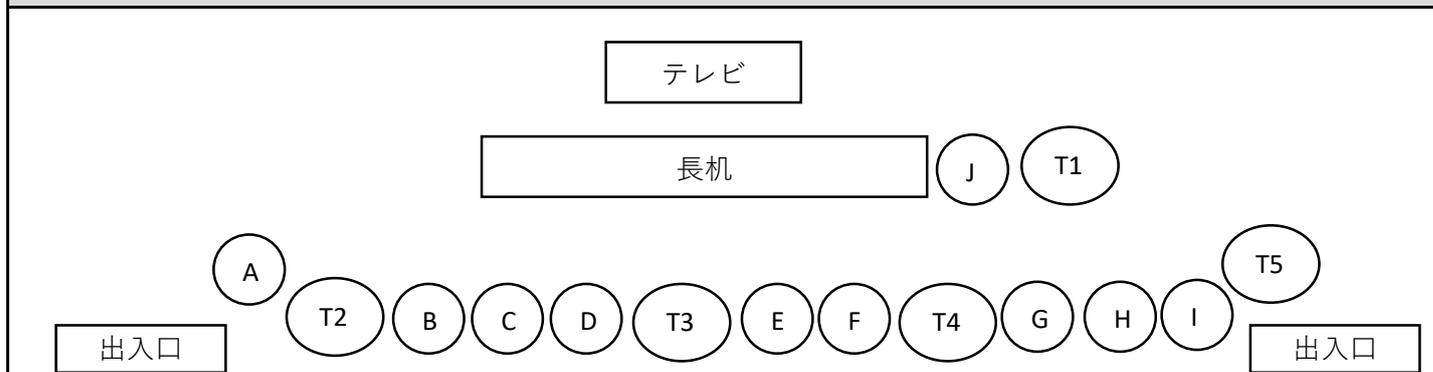
本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○リズムに合わせて、体を動かしたり、演奏したりする。	①②	①②③⑤

学習活動(時間)	○手立て・留意点	準備物等
1 始めの挨拶 『はじめましょう』	○『はじめましょう』の音楽に合わせて、プッシュベルを鳴らす。プッシュベルを自分で持てない児童は、机に置く、教師が持つなどして支援する。	・テレビ ・タブレット端末 ・プッシュベル
2 歌唱 『おもちゃのちゃちゃ』	○『おもちゃのちゃちゃ』の音楽に合わせて、歌ったり、体を動かしたりすることを伝える。声が出せる児童にはマイクを近づけることで、歌うことを促す。声が出せない児童は、体を揺らしたり、手拍子をしたり、カスタネットで音を出したり、歌を表現できるようにする。	・マイク ・カスタネット
3 器楽 『たぬきのたいこ』	○『たぬきのたいこ』の音楽に合わせて、タン布林で「タンウンウン」や「タンタタン」「タタタンタン」などのリズムで演奏することを伝える。絵譜を示して、強拍のみのリズム打ちの部分と8分音符の入ったリズムパターン部分を理解できるようにする。また、歌詞の内容が理解できるように、身体表現も取り入れる。	・絵譜 ・タン布林
4 身体表現 『しろくまのジェンカ』	○『しろくまのジェンカ』の音楽に合わせて踊ることを伝える。教師が踊っている動画を見せることで、踊りを模倣しやすくする。また、手首や足首に鈴を付けることで、ステップを踏むことを意識しやすくし、器楽活動につなげていく。	・鈴
5 鑑賞 『スケータズワルツ』	○『スケータズワルツ』の音楽を聴く際に、情景を想像できるような画像を提示する。また、曲を聴くだけでなく、スケートの動きを模倣するなどして、身体表現を楽しむことができるようにする。	
6 終わりの挨拶 『これでおしまい』	○『これでおしまい』の音楽に合わせて「おしまい」の手話をする。	

本時の評価（各教科等の学習評価の視点も踏まえ）

- ・音楽に合わせて、「タンタタン」や「タタタンタン」のリズムを意識して演奏することができていた。
- ・一人か二人の児童が前に出て演奏することで、その様子を見て自分の演奏を改善しようとする児童が出てきた。
- ・動画を見ることで、踊りを模倣しやすかったり、自信をもって踊ったりすることができた。
- ・提示した資料が複数（テレビ画面の動画、ホワイトボードの掲示物など）であった。児童がどこに注目すればよいか、分かりにくかったと思われる。

場の設定



【単元シート（保存用）】 小学部6年 「楽しい年の暮れ」指導計画

形態/教科・領域	生活単元学習	単元	楽しい年の暮れ	時数	13	期間	12月1日～12月22日	記入者（TT）	T1 菊地佑太 T2 佐藤舞 T3 亀谷征功 T4 武川雅子
----------	--------	----	---------	----	----	----	--------------	---------	--------------------------------

単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> 扱う素材や使用する道具を工夫し、冬の季節や年末年始の行事にちなんだ造形活動に取り組むことができる。 		知	<ul style="list-style-type: none"> 【生】日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすること。 【国】日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ること。
<ul style="list-style-type: none"> もうすぐ新しい年が来ることを知り、年末年始の行事の雰囲気を感じたり、活動に取り組んだりしながら期待感を持つことができる。 		思	<ul style="list-style-type: none"> 【国】日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。 【図】材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。
<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、教師や友達と関わることができる。 		主	<ul style="list-style-type: none"> 【生】日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現すること。

時数	日付	主な学習内容	○手立て ・留意点	教科
1	12/1	・オリエンテーション	○「年の暮れ」について、カレンダーやイラストなどを活用して提示する。 ○これから何をしていくのかなど、活動に見通しを持つことができるようにする。	生活・国語・図工
3	12/5 12/6 12/7	・カレンダーを作ろう 春・夏の絵の作成 秋・冬の絵の作成	○カレンダーの絵となる部分を作ることが分かるように、各季節に行った学習の様子の写真や動画を提示し、イメージをつかむことができるようにする。 ○使う道具や扱う素材が分かるように、同じ物を使って取り組み、見通しを持つことができるようにする。 ・場の設定の工夫をする。 ・言葉掛けは最小限とし、児童の主体的な姿を多く引き出すようにする。	
3	12/8 12/11 12/12	・クリスマスツリーの飾りを作ろう	○活動の様子を写真や動画で提示し、見通しを持って作品作りに取り組むことができるようにする。 ○使う道具や扱う素材が分かるように、同じ物を使って取り組み、見通しを持つことができるようにする。 ・場の設定の工夫をする。 ・言葉掛けは最小限とし、児童の主体的な姿を多く引き出すようにする。	
4	12/13 12/15 12/18 12/19	・年賀状を作ろう 辰年の「辰」の作成 年賀状をポストへ投函する。	○これまでの学習で使ってきた道具や素材を活用し、「辰」を表現できるようにする。 ・来年の干支（辰）が分かるように、紙芝居などで読み聞かせをしてから、学習に取り組むようにする。 ・年賀状をポストへ投函するときは、公共のマナーや交通安全についての事前学習を丁寧に行ってから、取り組むようにする。	
1	12/20	・お楽しみ会をしよう	○これまで取り組んできた活動の写真や動画を見ながら、一人一人活動を振り返ることができるようにする。	
1	12/22	・冬休みの生活について知ろう	○冬休みの生活が分かるように、カレンダーや写真などを活用して、見通しを持って過ごすことができるようにする。	

個	教科	個別の目標	◎達成 ○概ね達成 △達成できない	評価	メモ欄（配慮・具体的な姿など）
A	知 国2	日常生活で使っている平仮名や片仮名を読むことができる。	◎	0	・意欲的に作品作りに取り組んだ。
	思 図3	様々な道具や素材から、好きな物を選んで作品を作ることができる。	◎	0	
	主 生3	冬と関連付けながら、制作活動に関心を持って活動することができる。	◎	0	
B	知 国2	文字をなぞり書きすることができる。	△	0	・一つ作り終わると、他の活動をし始める。実態より、活動量をあらかじめ提示しておく手立てが必要であった。
	思 図3	身近な材料や用具を使い、かいたり、形を作ったりすることができる。	◎	0	
C	知 国2	「し」「う」など、二画程度までの平仮名のなぞり書きをすることができる。	◎	0	・手を添えて、一緒に行うことで書くことができた。
	思 図3	身近な材料や用具を使い、かいたり、形を作ったりすることができる。	◎	0	
D	知 国2	年賀状の「ね」、クリスマス「ク」のように、日常生活で使っている平仮名や片仮名を読むことができる。	△	0	・平仮名を中心に取り組んでおり、片仮名はまだ難しかった。
	思 図3	様々な道具や素材から、好きな物を選んで作品を作ることができる。	◎	0	
E	知 国1	季節に関連した絵本の読み聞かせに親しむことができる。	◎	0	・欠席していたため、学習への参加ができなかった。
	思 図1	自分が作った作品や友達が作った作品を見て、活動のイメージをつかむことができる。	◎	0	
F	知 国1	季節に関連した絵本などの読み聞かせに親しみ、読み手に注目することができる。	◎	0	・身近なお話だったためか、読み手の方を注目しながら聞いていた。
	思 図1	自分が作った作品や友達が作った作品を見て、活動のイメージをつかむことができる。	◎	0	
G	知 国1	季節に関連した絵本の読み聞かせに親しむことができる。	◎	0	・作品作りでは、使う道具や扱う素材を吟味する必要がある。
	思 図1	自分が作った作品や友達が作った作品を見て、活動のイメージをつかむことができる。	◎	0	
	主 生2	友達や教師と一緒に、作品作りを楽しむことができる。	◎	0	

単元の反省（合わせた教科・学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から）
<ul style="list-style-type: none"> これまで、制作活動を多く経験してきた学年であるため、道具の種類や素材を多く準備することで、考えて道具を使ったり、素材を選んだりすることができた。ただし、実態が様々な学年のため、道具や素材は吟味する必要があった。 実生活に結び付くような授業構成や手立てを工夫した。

学習評価	知	思	主
	<ul style="list-style-type: none"> 学習前に、写真や動画で活動の様子を見て確認したことで、見通しを持って取り組むことができた。 使う道具や扱う素材を工夫したことで、意欲的に活動に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具や素材の種類を多く準備したことで、自分で考えて違う道具を使ってみたり、素材を変えてみたりするなどの姿が多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品作りでは、言葉掛けを最小限にして、「待つ姿勢」を大切にすることで、自主的に取り組むことができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名		小学部6年 生活単元学習 楽しい年の暮れ	TI	菊地 佑太
授業日	12月11日(月)	時間	11:00~11:45	場所	小学部6年1組教室	本時 6/13時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

本学級は、知的障害を有する男子4名、女子3名、計7名で構成されている。そのうち男子二人がダウン症、女子二人が肢体不自由を併せ有している。車椅子の児童や経鼻酸素チューブを装着している児童もおり、安全に配慮する必要がある。学習面において、教師の手本を見て文字を書くことができる児童や、繰り返し取り組むことや、周囲の様子や写真、動画を手掛かりとすることで、見通しを持って取り組むことができる児童、教師と一緒に素材の感触を味わうことで、活動に取り組むことができる児童がおり、実態は幅広い。

本単元の「楽しい年の暮れ」では、主にみんなで来年のカレンダー（絵となる部分を作成）とクリスマスツリーの飾り物、年賀状を作る活動に取り組む。各活動を通して、季節を楽しむ心を育成すること、道具や素材を使って活動に取り組む力を育成することを、主なねらいとしている。また、季節に関連した絵本や、易しい読み物の読み聞かせを通して、季節を想起したり、季節にちなんだ作品作りに取り組んだりすることで、言葉から場面や内容を理解したり思い描いたりする力や、道具や素材を自己選択できる力も養うことができる単元である。

作ったカレンダーは、年明けの1月から使うことができるため、中学部へ進学してからも活用することができる。装飾したクリスマスツリーは学年や学部のお楽しみ会で使う予定である。年賀状は、ポストへ投函しに行くことで、公共施設の利用の仕方についても学ぶことができる。それぞれの作品をみんなで作り上げることで、完成した喜びや成功体験を多く味わうことができるのではないかと考え、本単元を設定した。

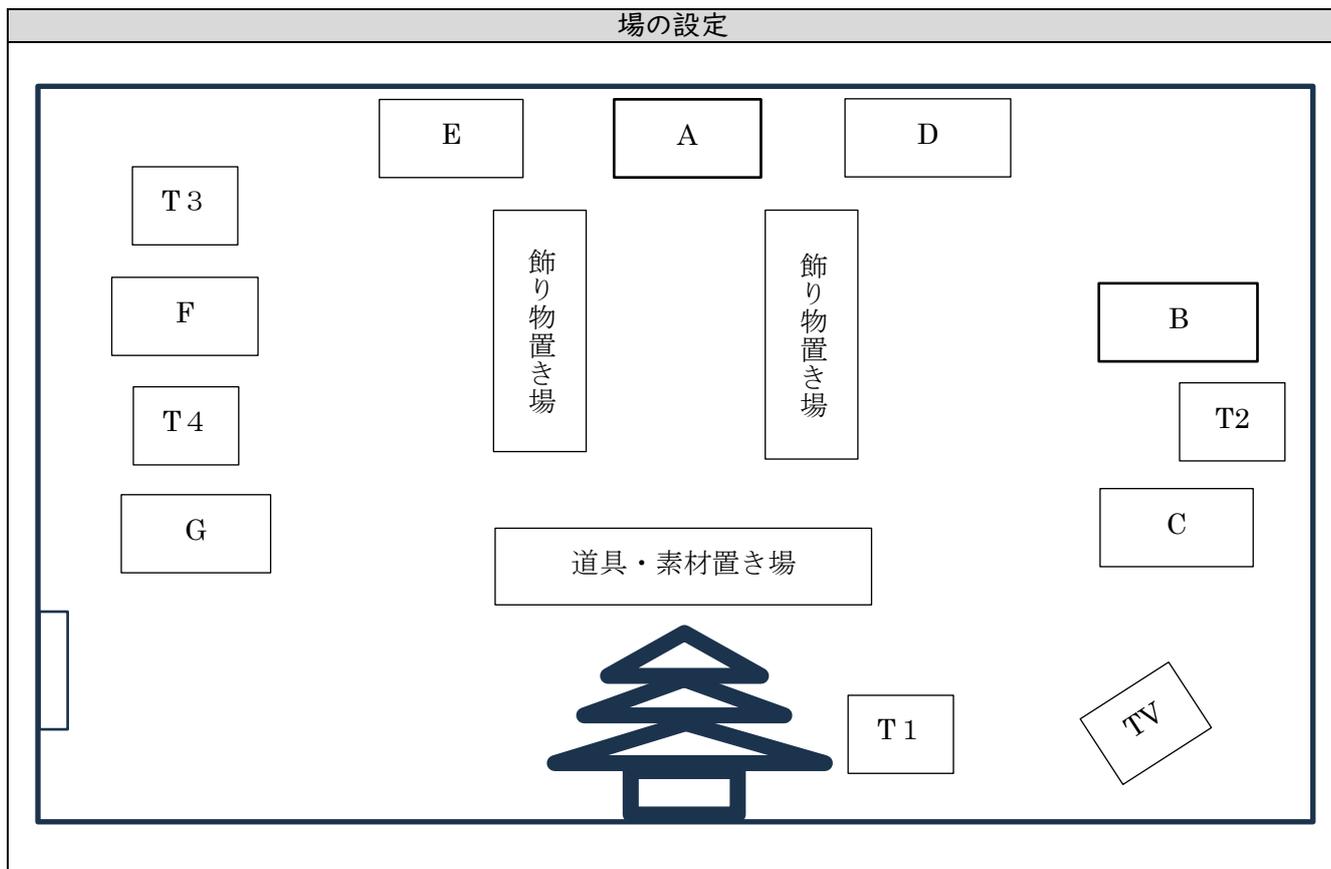
本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な道具や素材を使って、クリスマスツリーの飾り作りに取り組むことができる。【知識及び技能】 ・作りたい物を選んで、活動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・友達や教師と一緒に楽しみながら、活動に取り組もうとしている。 【学びに向かう力等】 	① ③	③④⑤

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1.準備をする。 2.始めの挨拶をする。 3.学習内容を知る。 4.クリスマスツリーの飾り作りに取り組む。 5.感想発表をする。 6.終わりの挨拶をする。 7.片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・制作用のエプロンや服を着ることを伝える。 ○必要に応じて、姿勢を正すことを言葉掛けする。 ○そばに付いて、「挨拶をするよ。」などの言葉掛けをする。 ○前時の様子を写真や動画で紹介し、本時の意欲を引き出すようにする。 ・前時で作った物を紹介しながら、クリスマスツリーの飾り作りに取り組むことを伝える。 ・筆や小皿など、必要最低限の道具を順番に配付する。 ○「待つ姿勢」を大切にして、まずは自分で取り組むことができるようにする。 ○取組状況を確認して、前時の様子の動画を流し、活動に見通しを持つことができるように支援する。 ・活動終了の言葉掛けをして、活動を続けている児童がいたときは、個別に言葉掛けをする。 ・作った作品の中から選んで、頑張ったことなどを発表する。 ○感想発表の最後に全員を称賛する。 ○必要に応じて、姿勢を正すことを言葉掛けする。 ○そばに付いて、「挨拶するよ。」などの言葉掛けをする。 ・使ったエプロンや服を脱いで、元の場所へ片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TV ・タブレット端末機 ・長机 ・机 ・椅子 ・制作用のエプロンまたは服 ・クリスマスツリー ・飾り物 ・道具 ・素材

本時の評価 **(各教科等の学習評価の視点も踏まえ)**

- ・様々な道具や素材を準備したことで、途中で道具や素材を変えて取り組む児童もおり、自分で好きなように考えて活動に取り組むことができた。
- ・季節に関連した身近な題材にしたことで、見通しを持って活動に取り組むことができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／单元名			小学部6年 生活单元学习 楽しい年の暮れ	T1	菊地 佑太
授業日	12月11日(月)	時間	11:00~11:45	場所	小学部6年1組教室	本時	6/13時間



単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
①夏の生き物や植物、行事などに触れる活動を通して、夏の特徴に関心を持つことができる。	知	①【生活:小3:サ(イ)】日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べる。	主
②夏に関する活動に取り組み、自分の思いを表現しようとするすることができる。		②【国語:小3:ウ(ア)】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむ。	
③夏を題材にした制作活動や夏の行事などに、楽しんで取り組もうとしている。		③【生活:小3:エ(ア)】日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとする。 ④【国語:小3:A(イ)】経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える。 ⑤【図工:小3:A(ア)】材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付く。	
		(上記の学習内容を主体的に学び、生活に生かそうとする態度を養う。)	

単元時間の流れ【関連教科】	
1. 歌(夏の歌を歌う。【生・音】) 2. いろいろな夏(関連する生き物や植物、風物などを知る。【生・国】) 3. 本時の活動【(矢印)】 4. 振り返り【生・国】	
教材等	【ミニプラネタリウム】  【I love Fireworks】  【ビー玉ころころ】  【手持ち花火】  【あそびのおうさま BOOK ぬって】 
小単元	時数
夏に親しもう(知る)	
4	学習計画 ○夏の空「雨(梅雨)」を知る。 ・雨の音を聞いたり、動画を見たりする。 ・雨の日の生き物、植物などを知る。 ・絵本「おじさんのかさ」の読み聞かせを聞く。 ・レインスティックで雨の音を楽しむ。 ○夏の空「七夕」を知る。 ・絵本「たなばたこびとのおはなし」の読み聞かせを聞く。 ・傘を用いたミニプラネタリウムで、星空を鑑賞する。 ○夏の空「花火」を知る。 ・花火の音を聞いたり、動画を見たりする。 ・「I love Fireworks」タブレット端末アプリで、花火を上げて遊ぶ。
夏を楽しもう(表す・深める)	
5	学習計画 ○これまで学習した「雨」「星」「花火」や関連する内容を思い出し、好きな活動を選んで繰り返し取り組む。 ・選んだ夏の空や関連する自然などを、好きな材料や用具などで描く。 ・選んだ歌に合わせて教師と一緒に楽器を鳴らしたり、スカーフなどを用いて表現したりする。 ○取り組んだ学習内容をシートに貼って積み重ね、夏の思い出を振り返る。

自立活動	
目標	○ 教師や友達との関わりを楽しみ、提示された物に手を伸ばしたり、感じたことを視線や表情などで表現したりする。 ○ 座位や立位の正しい姿勢に慣れ、自らあぐら座位を保持しようとする。
手だて	a 見通しを持ち、安心して取り組めるようにできるだけ同じ流れで学習を進める。 b 五感に働き掛けるような教材を用いて、提示の位置やタイミング等を工夫し、対象に気付いて興味を持つことができるようにする。 c 自発的な動きが見られたときは称賛し、その動きに応じて返すことで、やり取りの楽しさや満足感が得られるようにする。 d 表情や身振り、体の動きなどの表出を教師が読み取り、意味付け、共感しながら働き掛けを繰り返すことで、伝わる喜びを感じることができるようにする。 e 下肢に触れられる心地よさを味わい、リラックスする経験を重ねるとともに、股関節や膝、足首などの可動域の保持、拡大のため「ふれあい体操」や「ふれ足体操」、短下肢装具の装着に継続して取り組むことができるようにする。 f 座位(あぐら支持、座位保持椅子等)で学習する機会を継続して設ける。体調に合わせて時間を調整し、少しずつ無理のない範囲で、体幹に適度な力を入れて正しい姿勢に慣れていけるようにする。 g あぐら座位では、一人でもバランスを取りながら姿勢を保持できるように、後方からの支持を少しずつ減らしていく。
教科	本単元における目標
知	小1 ① 雨の音に気付いて視線を向けたり、花火や星の光を感じて手を伸ばしたりして、関心を持つ。
思	小1 ② 表情や視線、体の動きなどで、「楽しい」「もっとしたい」「これがしたい。」などの気持ちを表そうとする。 小2 ③ 夏の空や関連する事物に気付いて視線を向け、注目し、手を伸ばして触覚等の感覚を協応させながら捉えようとする。 小3 ④ 教師と一緒に材料や用具に触れ、手を動かして線を描いたり、形を変えたりしようとする。
主	小1 ⑤ 夏に関連する生き物や植物、風物などに関心を持って視線を動かしたり、自分から手を伸ばしたりするなど、進んで関わろうとする。
メモ欄(配慮・具体的な姿など)【関連する目標】	
【6月】	・「しとしと」「ぎーぎー」と聞こえてくる雨の音に、動きを止めてじっと聞き入る。【1②】 ・レインスティックの音色に少し驚いた表情を見せたが、ゆっくり繰り返すうちに口元から手を離して、表情を柔らかくさせた。初めて見聞きするものに関心を示し、少しずつ受け入れたような様子が見られた。 ・画面に鮮やかな黄緑色のかえるが現れると、思わず自分から手を伸ばしてタッチした。【1⑤】 写真I
【7月】	・頭上に大きな傘が広がり、星の光が点灯すると、目を丸くして、とても驚いた表情を見せる。【1】 写真II ・近付いた小さな光を見つけて、手を伸ばした。【1③⑤】 写真III ・活動が終わって片付けをしていると、自分から寝返りをして傘に近付き、手を伸ばした。再び楽しみたいという気持ちの表れであると捉えられる。【2】
【8月】	・リトミックスカーフを手首に着けて花火の歌を歌う。笑顔で左手を上下に動かした。次第に手の動きが大きくなる。【2】 ・視線を向けてソフトクレヨンを選び、教師と一緒に花火のシートに色を付けた。【2④】 写真IV
【9月】	・2つのタブレット端末の画面から、好きな方に手を伸ばして選び、手首に鈴を付けて、笑顔で繰り返し鳴らすことができた。【2】 ・レインスティックと傘のミニプラネタリウムから視線と手の動きでプラネタリウムを選び、傘が開くまで目で追いつけることができた。【2】 ・たくさんの小さな光を見上げ、注意を向け続け、繰り返し笑顔になりながら楽しむ様子が見られた。【2】 ・頭上に広がったミニプラネタリウムを見上げ、左手を伸ばして触ろうとすることができた。【3⑤】 写真V ・はさみを押しカチカチと音を鳴らすと、興味を示して視線を向け、手を伸ばすことができた。【4】 写真VI ・タブレット端末の花火に関心を示し、画面を触ってアプリケーションの花火を上げることができた。【5】

【単元シート】	指導の形態	各教科等を合わせた指導(生活単元学習)	学部・学年・題材/単元名	小学部 訪問5年「夏のくらし」	時数	9	期間	06/01 ~ 09/11	記入者	遠藤
---------	-------	---------------------	--------------	-----------------	----	---	----	---------------	-----	----

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)
<p>内容: 蝉やかえる、雨、花火などの動画を用いたり、星空や花火の鑑賞などの疑似体験を取り入れたりしながら学習を展開した。扱う内容をしばって繰り返したところ、児童が関心を持ち、自分から物に関わろうとすることが増えてきた。</p> <p>手立て: 単元の前半は夏に関する事物に触れる内容を扱い、後半はそこから好きなものを選んで遊んだり、いろいろな材料を用いてそれらを表現したりするように働き掛けた。選んだもので十分に活動できるようにしたこと、その後の表現では意欲的に取り組む児童の姿が見られた。</p> <p>教材: 光や風、柔らかい感触や静かに響く音など、諸感覚に働き掛ける教材等の工夫をした。児童が初めて触れる物もあり、始めは驚いたような表情を見せたが、次第にそれらを受け入れ、穏やかな表情や笑顔で自分から手を伸ばして取り組みたいものを選んで伝えるなど、効果的だった。</p> <p>時数: 訪問の他の学習との関連も考えると、適当だった。</p>

学 習 思 評	知	①夏の自然や風物などに視線を向けたり、手を伸ばしたりして関心を示す姿が見られた。 ②絵本の「ぼんぼろろん」や「きらきら」、「さらさら」などの言葉掛けを繰り返し聞き、言葉のリズムに合わせて教師と一緒に手を動かしたり、鈴などの楽器を鳴らしたりすることができた。
	思	③光遊びでは教師と一緒にカウントダウンしながら光の変化に笑顔を見せたり、アプリケーションの花火遊びでは教師と順番に手でなぞって花火を上げたりして、一緒に遊ぶことができた。 ④好きな物に視線を向けたり、手を伸ばしたりして、伝えたいものを考えて選ぶとすることができた。 ⑤ビー玉やプチプチシートの感触を味わったり、カスタネットばさみの音を楽しんだりしながら、笑顔で手を動かして表現しようすることができた。
価 主		⑤タブレット端末の鮮やかな写真や動画をじっと見聞きしたり、小さな光やレインスティックの音に気付いて自分から手を伸ばしたりして、意欲的に取り組もうとすることができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名			小学部5年 訪問 夏のくらし	TI	遠藤
授業日	9月8日(金)	時間	10:05~10:50	場所	訪問児童宅	本時	8時間／9時間

本単元に関わる児童の実態及び授業について

- ・児童はこれまで、週2回程度の訪問学習で、少しずつ周囲の人や物への関心を広げ、自分の気持ちを視線や身体の動きで伝えようとする学習を重ねてきた。
- ・前時までの活動では、雨の音に動きを止めて聴き入る様子が見られたり、頭上に広がった星の光を見上げて驚きながらも目で追い、次第に手を伸ばそうとしたりするなど、夏の自然や風物などに関心を示す姿が見られた。
- ・教師と一緒に夏の自然や風物などに繰り返し触れながら、関わる面白さをいっぱい感じ、自分から関わろうとする姿を育てていきたい。また、親しんだものから好きなものを選んだり、それらを表現したりする姿を受け止め、意味付けし共感しながら働き掛けを繰り返すことで、伝わった喜びや表現する楽しみを感じてほしいと考えた。
- ・活動にあたっては、実態や家庭の事情から、大きな教材を提示するときの酸素チューブの位置やカニューレの状態に十分配慮する。また、疑似体験を取り入れた活動の工夫や、扱いやすく安全に活動できる教具や材料の選択などを行う。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○夏の空の「雨」「七夕」「花火」の活動から、好きな活動を選んで視線や手の動きなどで教師に伝えたり、感じたことを身体の動きなどで表現したりする。	②③	②

時間	学習活動	○手立て・留意点	準備物等
10:15	1 始めの挨拶をする。 2 活動内容を知る。	・スケジュールカードや写真カードなどを提示しながら活動内容を伝え、見通しや期待感を持つことができるようにする。	カード
10:18	3 夏の歌を歌う。	○タブレット端末の画面に提示した歌「雨ふり」「七夕」「花火」から好きな歌を選んで伝えようとするように、選択肢の表示等を工夫する。 ○視線や手の動きで表現しやすいように、姿勢を整えたり、提示の位置などを工夫したりする。(f →②) ○好きな楽器やリトミックスカーフなどを用いて、表現する姿を称賛しながら楽しい雰囲気を作り、歌に合わせて表現する楽しさを感じることができるようにする。(d →②)	タブレット端末 鈴付きシュシュ リトミックスカーフ
10:23	4 これまで学習した夏の空や関連する自然、風物に触れる。	○楽器や傘などの具体物を用いながらこれまで学習した内容を示し、児童が学習を思い出したり、「もう一度したい。」などの気持ちを高めたりすることができるようにする。 ○児童が視線や手の動きなどで表現した様子を教師が受け止め、共感しながら返すことで、伝わった喜びを感じることができるようにする。(d →②)	レインスティック ミニプラネタリウム
10:30	5 選んだ夏の空や関連する自然などを、教師と一緒に表現する。	○これまでの学習で児童がより楽しそうに取り組んだ部分などを提示し、活動への期待感を高めることができるようにする。 ○ビー玉やプチプチシートなどの材料、カスタネットばさみやソフトクレヨンなどから選択を促し、素材やその特徴に触れる時間を持って、自分から関わろうとする動きを引き出すようにする。(d f →②) ・実態や家庭の事情に配慮し、安全に楽しく取り組むことができるようにする。	ビー玉、 プチプチシート、 カスタネットばさみ、 ソフトクレヨン、 キャンディボール、 絵の具など
10:46	6 振り返りをする。 7 終わりの挨拶をする。	○作品と一緒に鑑賞したり、表現の様子を称賛したりしながら、本時で選んだ夏の空や関連する自然の写真などをシートに貼って、振り返ることができるようにする。 ○これまで重ねてきた学習内容にも触れながら、夏の思い出を感じることができるようにする。 ・次時の活動のカードや具体物などを示しながら言葉掛けをし、見通しや期待感を持つことができるようにする。	思い出シート、 写真カード

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名			小学部5年 訪問 夏のくらし	TI	遠藤	
授業日	9月8日(金)	時間	10:05~10:50	場所	訪問児童宅	本時	8時間／9時間
本時の評価 (各教科等の学習評価に向けた視点も踏まえて)							
<ul style="list-style-type: none"> ・レインスティックと傘のミニプラネタリウムから、傘に視線をとどめて最後には手を伸ばし、気持ちを表現して教師に伝えることができた。 ・光が消えた傘を見上げ、ゆっくりと手を伸ばし、感覚を協応させながら捉えようとすることができた。 ・カウントダウンで点滅パターンが変化したり、消灯したりすると、声を出しながら笑顔で楽しむことができた。 ・光遊びでは消灯点灯を繰り返して4回遊ぶことができた。その後の表現では、手を伸ばしてカスタネットばさみを選び、笑顔で繰り返し手を動かして折り紙を切るなど意欲的に取り組むことができた。 							

単元の目標				
①のこぎりで木の枝を切る、やすりで削る、機械で穴を開けるなど木材加工の基礎を身に付ける。 ②作業製品販売会で保護者に販売することを知り、喜ばれる作業製品作りを目指して取り組もうとする気持ちを持つ。				
時	日付	主な学習内容	○手だて・留意点	教科
2	4/28 ③④	「作業学習って何だろう」 ・道具や材料の基本的な扱い方を知る。 ・実際に作られた製品や道具を見ることで関心を高める。	○実際に作った製品やその材料を見たり、触れたりする。 ○製品を作るための道具を扱っている様子を見たり、触れたりする。	職Aア1 職Aア2
4	5/2 ③④ 5/9 ③④	「作業を体験してみよう」 ・各作業を体験し、自分が取り組みたい作業を選ぶ。(1年生) ・道具や材料に触れて製品を作り方を体験し、基本的な扱いを知る。(2、3年生)	○各班に分かれ、道具や材料の基本的な扱い方の説明を聞く。 ○実態に道具や材料に触れ、簡単な製品作り体験をする。	職Aイ1 職Aイ2 数B小1 数B小2
34	5 ~7月	「作業製品を作ろう」 ・自分の依頼された 仕事の内容が分かる。 ・仕事の手順が分かり、見通しをもって取り組む。	○依頼された製品作りの内容とやり方を理解する。 ○製品を作る手順表を見たり、教師の指示を聞いたりして仕事をする。	職Aアイ
61	8 ~12月	「販売品を作ろう」 ・どんな販売製品を作るかが分かる。 ・自分の役割に集中し、安全に注意しながら仕事に取り組む。 ・友達や教師と頑張りを認め合いながら、共同作業を楽しむ。	○実際に作る販売製品を見せ、買ってもらう人に喜んでもらい製品を作るように促す。 ○自分の役割を知り、手順表を見たり、教師の指示を聞いたりしながら安全に仕事をするように言葉掛けをする。	職Aアイ 社エ
4	12月	「作業製品を販売しよう」 ・作業製品って何だろう。 ・作業製品販売の練習をしよう。 ・作業製品販売をしよう。 ・作業製品販売を振り替えよう。	○作業製品を販売して収入を得ることを知る。 ○呼び込み、計算、袋詰めなどの係を決める。 ○お客様に接する体験をする。 ○作業製品販売で頑張ったことを称賛する。 ○得られた収入で食事会をする。	職Aイ1 職Aイ2 数B小1 数B小2
29	1 ~3月	「プレゼントを作ろう」 ・お世話になった人へプレゼントを製作する。 ・仕事の手順が分かり、見通しをもって取り組む。	○どんなプレゼントにするか話し合い、みんなで協力してプレゼント作りをするように促す。 ○製品を作る手順表を見たり、教師の指示を聞いたりして仕事をする。	職Aアイ 美A①イ 美B①ア

単元の反省				
<p>・学校の40周年の記念品として「セッキーくん」、販売製品として「フルーツバスケット」の制作をした。生徒の実態に応じて、ボール盤を使って木片に穴を開ける活動、木片に色を塗る活動、色を塗った木片に模様を描く活動をした。手順表などを使って、繰り返し取り組むことで木材加工の基礎を身に付けることができた。</p> <p>・準備ができたなら「お願いします。」という依頼、一つの作業が終わったら「終わりました。」の報告を学習活動の中で指導してきた。普段の学習の中で継続して取り組むことで、依頼や報告の習慣を身に付けることができた。</p> <p>・「40才おめでとう。」の品物であることや、販売会で買った人に喜んでもらえるものを作ろうと学習の始めに話すことで、丁寧に制作しようという意識が出てきた。</p> <p>・振り返りの場面で、生徒が頑張ったことを発表した後に、担当教師が具体的に頑張った活動をみんなに伝えることで、今後の生徒の活動意欲につながり、教師間で生徒の活動や頑張りを共有することができた。</p>				

主な教科等の育成を目指す資質・能力				
知	①中職業:2段階ア(ア)	働くことの目的などを理解する。		
	②中職業:1段階ア(ア)エ	作業の課題が分かり、使用する道具や扱い方に慣れる。		
	③中職業:1段階イ(ア)オ	作業の持続性や巧緻性などを身に付ける。		
	④社会:1段階エ	販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かる。		
思	⑤中職業:1段階ア(イ)	意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付く。		
	⑥中職業:2段階ア(ウ)	作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。		
個	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
A	知 ②	穴開け機の操作が正確にできる。	◎	◎:達成することができた。 ○:概ね達成することができた。 △:達成には至っていない。
	思 ④	丁寧に木片に穴を開けることができる。	◎	
	主 ⑤	落ち着いて穴開け機の操作ができる。	◎	
B	知 ②	穴開け機の操作ができる。	○	
	思 ④	木片に穴を開けることができる。	○	
	主 ⑤	進んで穴開け機の操作ができる。	◎	
C	知 ②	合図に合わせて、穴開け機を操作することができる。	○	
	思 ④	教師の指示に応じて木片に穴を開けることができる。	○	
	主 ⑤	自分の順番が分かり、進んで取り組もうとする。	◎	
D	知 ②	穴開け機を正しく操作することができる。	◎	
	思 ④	印に合わせて、穴開け機で穴を開けることができる。	◎	
	主 ⑤	落ち着いて穴開け機の操作をすることができる。	○	
E	知 ②	手順に沿って模様付けに取り組むことができる。	◎	
	思 ④	見本を見ながら木片に丁寧に模様を描くことができる。	◎	
	主 ⑤	進んで木片の模様付けに取り組むことができる。	◎	
F	知 ②	教師と一緒に手順を確認しながら、模様付けに取り組むことができる。	◎	
	思 ④	木片に模様を描くことができる。	◎	
	主 ⑤	落ち着いて木片の模様付けに取り組むことができる。	○	
G	知 ②	筆を正しく扱うことができる。	◎	
	思 ④	木片に丁寧に色を塗ることができる。	○	
	主 ⑤	決められた数の木片に自分で色を塗ることができる。	○	
H	知 ②	筆を丁寧に扱うことができる。	◎	
	思 ④	木片にむらなく色を塗ることができる。	○	
	主 ⑤	絵の具の色が果物の色になっていることが分かり、進んで作業に取り組むことができる。	◎	
I	知 ③	印を見て、決められた位置に穴を開けることができる。	◎	
	思 ④	作業しやすい姿勢で取り組むことができる。	○	
	主 ⑤	周囲の状況に応じて役割を変えながら取り組むことができる。	◎	
J	知 ③	木片からはみ出さずに色付けすることができる。	◎	
	思 ④	隙間なく丁寧に色付けすることができる。	◎	
	主 ⑤	準備物を見て見通しを持ち、自分から作業に取り組むことができる。	○	
K	知 ②	筆を握って保持しながら色付けすることができる。	◎	
	思 ④	筆を繰り返し動かして色付けすることができる。	○	
	主 ⑤	自分から筆を持ち色塗りに取り組むことができる。	○	

※網掛けは本時の重点評価観点

学習評価	
知	・作業の課題が分かり、使用する道具や扱い方に慣れることができた。 ・作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。
思	・意欲や見通しを持って取り組み、自分の役割について気付くことができた。
主	・作業に達成感を得て、進んで取り組むことができた。

【授業シート】	学部・学年・題材・単元名	中学部木工班 作業学習「販売製品を作ろう」		T1 鈴木			
授業日	11月 9日(木)	時間	10:35~11:40	場所	木工室	本時	35・36/61 時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

中学部には27名の生徒が在籍している。1年生は、地域の学校からの転入学生徒1名を含め9名である。入学して半年ほどが経ち、少しずつ中学部の環境や生活リズムに慣れてきたところである。2年生、3年生も入学してそれぞれ1年、2年が経過し、運動会や学習発表会、宿泊学習や修学旅行などを経験しながら、少しずつ成長の様子が見られている。ただ、一人一人を見ればそれぞれに課題があり、日々の学習活動に取り組んでいるところである。

今年度、木工班に所属している生徒は11名(1年生4名、2年生3名、3年生4名、そのうち車いす使用は1名)である。今年度初めて木工班に所属する生徒も多い。指先の器用な生徒や見通しを持って取り組むことができる生徒もいれば、指先をうまく使えない生徒や、作業に集中することが難しい生徒もあり、実態は様々である。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
・フルーツストラップ製作の作業を分担して行い、基礎的な作業を身に付ける。 ・喜ばれる作業製品作りを目指して、丁寧に作業をする。	①、②	②、⑤

学習活動(時間)	○手立て・留意点	準備物等
作業の準備をする ・水筒を学年別の籠に置く。 ・エプロンを着る。 1 始めの挨拶をする。 2 本時の学習活動(作業内容)を聞く。 3 作業を行う。(20分) ・穴開け班 ・色塗り班 ・模様描き班 4 休憩する。(10分) 5 作業を行う。(15分) 6 後片付けを行う。 7 作業の振り返りをする。 8 終わりの挨拶をする。	○学年ごとに指定した籠に水筒を置く。 ○エプロンを掛けてある位置に誘導する。 ○姿勢を正し、号令を掛けるT1に注目するように言葉掛けを行う。 ○T1が本時の作業内容と作業時間を全体で確認する。 ○名前を呼ばれたら、返事をするように言葉掛けをする。 ○作業で使う用具や道具を自分の席に持ってくるように言葉掛けをする。 ○指定した位置で作業を開始する。 ○ペンチで木片を挟み、印を付けた場所に機械で穴を開ける。 ◎準備ができたなら、「お願いします。」と言って、機械を操作する。 ○台に木片を置き、筆を使ってニス塗る。 ◎木片に満遍なく色を塗ったら、「終わりました。」と言って知らせる。 ○台に色を塗った木片を置き、見本を見ながら、ガラス絵の具やマジックで模様を描く。 ◎模様を描き終わったら、「終わりました。」と言って知らせる。 (※各班の実態に応じて順番に作業を行い、順番がくるまではヤスリ掛けや切り込みを入れる作業等を行う。) ○T1が作業の区切りが良いところで休憩するように言葉掛けをする。 ○T1が作業の再開と作業時間を言葉掛けする。 ○使用した用具や道具を後片付けするように言葉掛けをする。 ○机をぞうきんで拭く係、床をほうきで掃く係、ゴミを小ぼうきとちりとりで集める係に分かれて掃除をする。 ●各作業班から代表者1名が本時の振り返りをする。 ●担当している生徒の頑張ったことを教師が話す。 ○姿勢を正し、号令を掛けるT1に注目するように言葉掛けを行う。 ◎個人評価の場 ●全体評価の場	籠 エプロン ホワイトボード タイマー 木片 ペンチ 穴開け機 木片 ニス 筆 木片 マジック ガラス絵の具 模様シート 雑巾 ほうき 小ぼうき ちりとり

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

・実態によって「穴開け班」「色塗り班」「模様描き班」に分かれて活動した。同じ活動に繰り返し取り組むことで、作業のスキルが上がってきた。
 ・授業の始めに作業販売会で販売する製品を作ることを話すことで、意欲的に仕事をしようとする姿が見られるようになってきた。
 ・準備ができたなら、「お願いします。」、一つの作業が終わったら、「終わりました。」と伝えることについては、生徒の実態に応じて、言葉で話したり、領いたり、手で合図したりの方法で行うことができた。

【単元シート】	指導の形態	音楽(教科別の指導)	学部 学年 単元名	中学部 自立活動班「ダンスを作ろう」	時数	12	記入者(TT)	万城目、鈴木、廣島、高清水
---------	-------	------------	-----------	--------------------	----	----	---------	---------------

単元の目標			
①友達と一緒に表現する楽しさを味わう。 ②簡単な身体表現をして、曲に合わせて体を動かすことを楽しむ。 ③世界の様々なダンス音楽に親しむ。			
★1~3の内容を毎時間学習する。1, 2の曲や鑑賞動画は時間により変更する。			
内容	日付	主な学習内容	○手だて・留意点
1 歌唱・身体表現	6/ 2(金) / 5(月) /12(月)	「幸せなら 手をたたこう」	○音楽に合わせて手拍子で表現することを楽しくめるように、教師が示範し、学年ごとに練習する時間を取る。 ○手拍子のリズムを「チャチャチャ」などと口頭でも伝えるようにし、歌いながら手拍子できるようにする。 ○はじめはゆっくり行い、慣れたら通常のテンポに近付ける。 ・リズムのとりやすい曲を選ぶようにする。
	/16(金) /19(月) /23(金)	「楽しいね」	
	/26(月) /30(金) 7/ 3(月)	「気球に乗って どこまでも」	
	/ 7(金) /10(月) /14(金)	「山の音楽家」	
2 鑑賞		・コサックダンス ・フラメンコ ・ハカ ・アイリッシュダンス ・タンゴ ・フラダンス ・サンバ etc...	○興味を持って鑑賞できるように、それぞれのダンスの特徴や国、歴史、ダンスに込められた思いなどを紹介してから動画を視聴する。 ・リズムや雰囲気の異なる世界の様々なダンスを紹介する。
3 歌唱・身体表現 「ジンギスカン」	6/ 2(金)	曲の紹介・鑑賞	○ダンスを考えたり踊ったりすることの楽しさを味わうことができるように、個人が考えたダンスを盛り込むようにする。
	6/ 5(月)	道具選び	○タオル、タンブリン、ポンポンを紹介し、それぞれを使用したダンスを鑑賞してから、使いたい道具を選択する。
	6/12(月) ~7/10(月)	学年ごと練習	○学年ごとに選択した道具を使って自由に踊っている様子を撮影し、一人一人の動きをダンスの動きに生かすようにする。 ○個人の動きを動画やイラストで紹介し、見ながら練習することができるようにする。
	7/14(金)	発表	○学年ごとのダンスを鑑賞し、楽しむことができるよう、明るく、前向きな言葉掛けをする。

学習評価	
知	近くで鳴っている音に興味を持って、手を伸ばしたり顔を向けたりすることができた。楽器が変わると、静かに聴き入るような表情になることが多く、音色の違いを感じている様子が観察できた。
思	タオルやタンブリンなどの道具を使ったり、大きく腕を動かしたり、声を出したりして、自分のできる動きで音楽に合わせて体を動かすことができた。
主	耳を澄まして、テンポの違いや音の高低を聴く様子が見られ、感じ取った楽しさや力強さを近くにいる教師に伝えようといっていた。

単元の反省	
○鑑賞では、色々な国のダンスを視聴した。特に、曲調の違いが際立っているときには、感じたことを近くにいる教師に伝えようとする様子が見られた。特徴の異なる色々な音楽に触れることで、表現しようとする気持ちを高めることができた。	
○毎時間の歌唱・身体表現のときに、全員で楽しく歌ったり体を動かしたりすることで、気持ちや体の準備ができ、後半の鑑賞やダンスの学習にスムーズにつなげることができた。	
△タンブリンを鳴らすことができる補助具や、表現を引き出すための個別の動き掛けを更に工夫することができたと感じる。	

主な教科等の育成を目指す資質・能力		
知	中12Aエ(イ)㉞	曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くこと。
	中12Aエ(イ)㉟	曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くこと。
	中1Aエ(ウ)㉟	示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能を身に付けること。
	中1Aエ(ウ)㊱	音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現する技能を身に付けること。
	中1Aエ(ウ)㊲	友達と動きを合わせて表現する技能を身に付けること。
	中1Bア(イ)	曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。
思	中2Aエ(ウ)㉞	示範を見て表現したり、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現したりする技能を身に付けること。
	中2Aエ(ウ)㊱	音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現する技能を身に付けること。
	中2Aエ(ウ)㊲	友達と動きを相談して、合わせて表現する技能を身に付けること。
	中1Aア(ア)	歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。
	中1Aエ(ア)	身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。
	中1Bア(ア)	鑑賞についての知識を得たり、生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどを見出して聴くこと。
主	中2Aア(ア)	歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。
	中2Aエ(ア)	身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと。
	中2Bア(ア)	鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。
	共通ア	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考えること。
	中1ウ	進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。
	中2ウ	主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

資質・能力
段階
内容
◎手立て ●本時特に
評価
メモ

個	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
A	小2Bア(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 ◎視線がテレビに向くよう動き掛けたり、車椅子を自由に操作したりできるようにし、全身で表現できるようにする。	小1Aア(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 ●ジンギスカンのダンスを行う際には、タオルの片方を教師が持って生徒が振りやすいようにしたり、手に触れて、動きを促したりする。	小2Bウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする。 ◎表情の変化が見られた際には共感的な言葉を掛けたり、生徒から教師への働きかけがあった際には、手に触れて応えたりする。
	○	◎	◎
B	小2Bア(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 ◎ウクレレやピアノのリズムに合わせて、手をとり一緒に手拍子したり、ウォーカーを左右に動かしたりして、全身での表現を促す。	小1Aア(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 ◎一緒にタンブリンを持ち、ジンギスカンの曲に合わせて揺らしたり、叩いたりして、動きを促す。	小1ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。 ◎音が鳴っている方向に顔を向けたり、音楽が流れているタイミングで笑顔や発声、身体の動きが見られたりしたら称赞し、喜ぶ様子が見られたら代弁したり共感したりする。
	◎	○	◎
C	小2Bア(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 ◎ウクレレやピアノのリズムに合わせて、手足に触れて表情や身体表現の変化を観察する。	小1Aア(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 ●全体での歌唱に加えて、個別にも体に触れながら歌い掛け、発声や手足の動きを促す。	小1ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする。 ◎音の高低や大小に応じて反応が異なるときには大いに称赞し、色々な反応に共感的に関わる。
	◎	○	◎
D	小2Bア(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 ◎リモート画面に目線がいくように言葉掛けを行い、笑顔や身振りが見られたら、共感的な言葉掛けを行い表情を観察する。	小1Aア(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 ◎ジンギスカンの曲に合わせてタンブリンを振ったり叩いて音を鳴らしたりする様子が見られたら称赞する。	小2Bウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする。 ◎音楽が流れている場面でも、表情や体の動きを観察し、笑顔や身振りが見られたら代弁して共感したり、一緒に喜んだりする。
	◎	○	◎

【授業シート】	学部・学年・題材・単元名	中学部 自立活動班「ダンスを作ろう」	TI	鈴木			
授業日	7月14日(金)	時間	13:10 ~ 13:50	場所	中学部プレイルーム	本時	12/12 時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

・生徒数4人(男子2人・女子2人)。全員が医療的ケアを必要とし、知的障害のほか、肢体不自由も併せ有している。
 ・男子生徒2名のうち、1名は車椅子で参加し、自分で前後に操作することができる。もう1名は、下肢装具を装着した状態でウォーカーに乗車し自分で歩行し参加している。女子生徒2名のうち1名はタブレット端末を使用し、別室からリモートで参加する。もう1名は、バギーに乗車し参加する。
 ・リモートで参加する生徒も学年のみんなに混ざっていることを意識できるよう、テレビにリモート画面を映し、さらにみんなと一緒に踊っている様子を本人が見られるように設定しておくことで一緒に参加している雰囲気を感じられるようにしたい。
 ・学年ごとのダンス発表では、タン布林やタオルを教師と一緒に持って身振りや表情で楽しさを表現できるようにしたい。
 ・全学年「ジンギスカン」を題材にし、学年ごとに用いる道具をポンポン・タオル・タンバリンの中から選択しダンス制作に取り組むことで、学年や道具の違いによる音や動きの違いを楽しみながら感じられるようにしたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
・ジンギスカンの曲に合わせて、友達と一緒にダンスを発表することができる。 ・音楽が鳴っている方向に顔を向けたり、音楽に合わせて身振りや表情で自分なりに表現しようとするができる。	①③	②⑤

	○手立て・留意点	準備物等
1. 身体表現① 「気球に乗ってどこまでも」 (10分)	○音楽に合わせて手拍子で表現することを楽しくめるように、教師が示範したり、一緒に手をとって手拍子をしたりする。 ○手拍子のリズムを「チャチャチャ」などと口頭でも伝えるようにし、歌いながら手足に触れてリズムを感じられるようにする。	タブレット端末 テレビ タン布林 タオル ポンポン
2. 身体表現② 「ジンギスカン」 (15分)	・学年ごとに発表し合い、発表が終わるたびに感想発表の場を設ける。 ○発表が終わるたびに、ダンスの良いところや工夫が見られた点などその場で称賛する。 ○自分から体を動かしたり、音を鳴らそうとする様子が見られたら、周知することでみんなに見てもらえるよう働き掛ける。	
3. 鑑賞 「世界のダンス」 (5分)	○最初にダンスの特徴などを紹介することで興味を持って鑑賞できるようにする。 ○スライドやダンスが流れている画面に顔を向けるよう言葉掛けを行い、スライドの内容を簡単な言葉にして読み上げたり、ダンスの様子を伝えたりする。	

本時の評価(各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

○「ジンギスカン」に合わせて、体を動かしたり、声を出したりして表現することができた。
 ○他学年のダンス発表の時には顔を向けて、音楽を聴きながら励ましたり、一緒に楽しんだりしているような発声や体の動きが見られた。「楽しいね。」「すごいよ。」など共感的に関わりながら、生徒の表現や感じ方を受け止めたり広げたりすることができた。
 △生徒が主体的に身体表現をできるような補助具や姿勢などを工夫することで、更に生き生きとした活動を引き出すことができると感じた。

単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力	
(1)公共のマナーや集団行動のルールについて知る。(知識・技能)		知	(1)【社会:中学部:2段階】自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。
(2)自分たちの地域と旅行先の地域の違いを体験することで気付きを表現することができる。(思考力・判断力・表現力等)		思	(2)【国語:中学部:2段階】見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順番や伝え方を考えること。
(3)自分たちの立てた計画に沿って行動しようとする意欲を養う。(学びに向かう力・人間性等)		主	(3)【社会:中学部:2段階】社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	評価計画		
					知	思	主
1	6/30 ⑤	・仙台宿泊学習の目的や日程、活動内容の確認	○過去の宿泊学習の写真を提示し、公共施設を利用している様子や仙台の観光地を確認する。	社会	○		○
2	7/11 ①②	・課程別自主研修で行きたい場所を調べて、選ぶ。	○写真を提示し、仙台近郊にある公共施設を知る。行き先を調べる。	社会	○		○
3	7/13 ①②	・課程別自主研修で研修先を決定する。	○写真を提示し仙台近郊にある公共施設を知る。研修先を調べる。昼食や夕食をとる場所を決める。	社会	○		○
4	7/13 ⑤	・クラス別研修で行きたい場所を調べたり、発表したりする。 ・研修先を決定する。	○各自が情報機器を活用して調べ、自主研修で行きたい場所を決める。 ・全員が行きたい場所を発表できるようにする。 ・クラスで話し合っって研修先を決める。 ○決まった研修先について情報機器を活用して調べる。	社会 国語	○	○	○
5	8/29 ①②	・クラス別研修の行程や昼食場所、公共交通機関の時刻などを調べる。	○情報機器を活用して、可能な限り生徒が昼食場所や時刻表を調べて計画を立てるようにする。 ・全員の意見を聞き、昼食場所を話し合っって決める。	社会	○		○
6	9/1 ③	・公共交通機関の乗り方、乗車時のマナーの確認をする。	○バスの乗車の仕方をクイズを通して確認した後、バスや電車の模擬乗車体験をする。	社会	○		○
7	9/1 ④	・お小遣いの使い方、買い物の記録の付け方を学習する。 ・宿泊学習のしおりの帳合を行う。	○自主研修で使う金額の合計を計算する。 ・計算機の使用が難しい生徒の支援をする。 ・実態に応じて、計算した金額を印刷した用紙を貼る。 ○自分のグループ、クラスの行程表をしおりに入れる。	数学			
8	9/4 ④	・ホテルでの過ごし方について確認する。 ・部屋割りを発表する。	○ホテル到着後の流れ、部屋でのルールやマナー、ホテル内での服装、荷物の整理、朝食などについて確認する。 ・ホテルの配置図を示し、写真カードを貼りながら、部屋の場所や同室の生徒、教師を把握する。	社会	○		○
9	9/5 ④	・公共の場でのルールやマナーについて確認する。	○公共の場におけるルールやマナーを○×クイズを通して確認する。	社会	○		○
10	9/6 ③	・結団式や出発式の準備を行う。 ・しおりに目標を記入する。	・代表生徒の言葉や、出発の挨拶等を担当する生徒は教師と一緒に目標や楽しみなどを書き表す。 ・目標記入の際、実態に応じて支援をする。	国語		○	
11	9/6 ④	・結団式	○担当生徒を中心に、結団式を運営する。 ○各クラスの代表生徒が、目標を発表する。	社会 国語	○	○	○
12	9/6 ⑤	・最終確認を行う。	○行程を確認する。 ○公共施設や公共交通機関のルールやマナーを確認する。	社会	○		○
13	9/12 ③	・写真や動画を見て、振り返りをする。	○自主研修の振り返りでは、指名した生徒が、行き先やその時の感想などを発表する。 ・行程表を提示して、思い出すことができるようにする。	国語		○	
14	9/12 ④	・グループ別研修のまとめをする。(本時)	・自主研修の感想を文章で書いたり、例文の中から自分の感想に近いものを選んだりして色画用紙に貼る。感想発表の準備をする。	社会 国語	○	○	○
15	9/13 ①②	・グループ別研修のまとめ、発表練習を行う。	○発表原稿の仕上げを行い、発表練習をする。	国語		○	
16	9/13 ⑤	・グループごとに発表する。 ・まとめを行う。	・グループごとに模造紙を提示しながら発表する。 ・仙台宿泊学習中に良かったこと、できたことなど伝え、称賛する。	社会 国語	○	○	○

個	教科	支援・手立て	評価・メモ
A	知 中17	教師が色々な表現の選択肢を用意そこから自分の気持ちに近いものを選ぶ。	教師が気持ちを代弁するのを笑顔で聞くことができた。
	思 小287	選んだものを切って貼れるよう支援する。	好きな写真やイラストを教師と一緒に選ぶことができた。
	主 中17	発表場面を設定し、達成感を味わえるようにする。	教師と一緒に友達の前に出て発表することができた。
B	知 中17	イラストを掲示したり、教師が質問したりして、気持ちを引き出す。	「とてもきれいでした。また行きたいです。」と気持ちを発表することができた。
	思 中17	選んだ物を切って貼ったり、記入したりする。	好きな写真を選んで貼ったり、イラストを書いたりすることができた。
	主 中17	発表場面を設定し、達成感を味わえるようにする。	教師と一緒に友達の前に出て発表することができた。
C	知 中17	イラストを掲示したり、教師が質問したりして、気持ちを引き出す。	「ペンギンがかわいかったです。」と気持ちを発表することができた。
	思 中17	選んだ物を切って貼ったり、記入したりする。	楽しい顔のカードを選び、切り抜いて貼ることができた。
	主 中17	発表場面を設定し、達成感を味わえるようにする。	教師と一緒に友達の前に出て、自分の作品を指示棒で指しながら発表することができた。
D	知 中17	教師がたくさん質問して気持ちを引き出す。	「ペンギンがかわいかったです。」と自分の気持ちを発表することができた。
	思 小287	引き出した気持ちを教師と一緒にまとめ記入する。	ヒントシートを参考にして「ペンギンに会えてうれしかったです。」と記入することができた。
	主 中17	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	友達の前に出て発表することができた。
E	知 中17	教師が色々な表現の選択肢を用意そこから自分の気持ちに近いものを選ぶ。	ヒントシートの中から「ペンギンがかわいかったです。」を選ぶことができた。
	思 小287	選んだものを切って貼れるよう支援する。	はさみでぼぼ線の通りに切り抜き、自分で決めたところに貼ることができた。
	主 中27	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	教師と一緒に友達の前で発表することができた。
F	知 中17	教師が色々な表現の選択肢を用意そこから自分の気持ちに近いものを選ぶ。	「楽しかったです。」や「また行きたいです。」などの自分の気持ちに合ったカードを選ぶことができた。
	思 小287	選んだものを切って貼れるよう支援する。	自分で決めたところにレイアウトして貼ることができた。
	主 中27	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	友達の前に出て発表することができた。
G	知 中17	教師がたくさん質問して気持ちを引き出す。	ヒントシートを参考に「ペンギンがかわいかったです。」と答えることができた。
	思 中187	引き出した気持ちを教師と一緒にまとめ記入する。	「また行きたいです。」と自分の気持ちを記入することができた。
	主 中27	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	友達の前に出て、適切な声の大きさを発表することができた。
H	知 社中20 (7)①	写真を見ながら、訪れた公共施設や利用した公共交通機関を振り返るようにする。	写真を見ながら、アトラクションを楽しんだことを発表することができた。
	思 国中287	経験したことや自分の考えを書くことに時間がかかっているときは、行程表や写真を見て振り返るように言葉掛けをする。	なかなか考えがまとまらず、時間がかかっていたため、友達の考えを参考までに教えたところ、「同じです。」と答えて感想欄に記入することができた。
	主 社中27	発表など活躍の場面を設定し、達成感を味わうことができるようにする。	発表する友達の隣で模造紙を掲げ、発表に協力することができた。
I	知 社中20 (7)①	写真を見ながら、訪れた公共施設や利用した公共交通機関を振り返るようにする。	好きな写真を選んで貼りながら、学習を振り返ることができた。
	思 中187	引き出した気持ちを教師と一緒にまとめ記入する。	「たのしかったです。」と記入することができた。
	主 中27	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	できあがった作品を教師に提出することができた。
J	知 中17	教師が色々な表現の選択肢を用意そこから自分の気持ちに近いものを選ぶ。	「きれいでした。」と「また行きたいです。」を選ぶことができた。
	思 小287	選んだものを切って貼れるよう支援する。	教師と一緒に切って、決めたところにレイアウトして貼ることができた。
	主 中27	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	教師と一緒に友達の前に出て、自分の作品を指示棒で指しながら発表することができた。

学習評価	知	思	主
	公共施設でのマナーを守り、友達と一緒に行動し、研修することができた。	見聞きしたことや経験したことをできるだけ自分の言葉でまとめ、友達の前で発表することができた。	研修地に興味を持ち、事前学習で決めた計画に沿って意欲的に活動することができた。

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	
・	あらかじめ教師が完成形の見本を提示したり、発表の仕方を示範したりすることで見通しをもって学習に取り組むことができた。
・	担当する生徒の実態を考えた教材・教具を用意し、適切な支援を行った結果、生徒がそれぞれの表現方法で研修学習を振り返り、学習のまとめをすることができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名	高等部1年「仙台宿泊学習に向けて」(A課程)	T1	千葉 順子
授業日	9月12日(火)	時間	11:20~12:10	場所	1年1組教室
				本時	14時間／16時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

高等部 AB課程に所属する10名の学習集団である。ほとんどの生徒が話し言葉で意思疎通ができるが、自分の気持ちや考えを言語化することが難しい生徒もいる。また、書字については漢字仮名交じりの表記ができる生徒、視写やなぞりができる生徒、全体的に支援が必要な生徒と実態は様々である。

本時は、仙台宿泊学習の事後学習で、グループ別自主研修の感想をまとめ、発表練習をする学習である。「うみの杜水族館」での自主研修の中で印象的だったことを各自がまとめ、発表の準備をする。生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をすることで意欲を持って学習に取り組めるようにしたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○仙台宿泊学習の思い出を振り返り、色画用紙にまとめることができる。	(1)(2)(3)	(2)(3)

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1 はじめの挨拶	○日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・見守りや、言葉掛けをする。	
2 本時の学習を知る	○学習内容について説明し、見通しを持てるようにする。 ・映像を見ながら、「うみの杜水族館」での仙台自主研修の様子を振り返る。 ○印象に残っている思い出を各自が色画用紙にまとめ、それを模造紙に貼り付けて廊下に掲示することを伝える。	iPad 色画用紙 のり・はさみ マジックペン 魚のイラスト 感想の例文 吹き出し シール 模造紙 ラシャ紙等
3 各自でグループ別自主研修のまとめをする	○色画用紙に写真を貼ったり、イラストや感想を書いたりして装飾し思い出をまとめる。 ・生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をする。	
4 発表の練習をする	○各自でまとめたものを発表する。(時間があったら全員) ・13日(水)⑤に発表する代表者を決める。代表者以外の生徒は、13日(水)①②のクラスの時間等に発表の場を設ける。後日、廊下掲示をして学年全体で見合う。	
5 まとめ、次時の話を聞く	○感想文や装飾の仕方などを紹介し、称賛する。 ○次時の学習では、他のグループの発表を互いに聞き合うことを伝える。代表の生徒が発表することを伝え、見通しを持てるようにする。	
6 終わりの挨拶	○日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・見守りや、言葉掛けをする。	

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

- ・自分たちが行った場所や体験したことを、映像を観ながら振り返ることで、思い出して感想をまとめることができた。
- ・生徒の実態に応じた教材・教具を準備することで、意欲的に学習に取り組むことができた。

単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力		
・公共のマナーや集団行動のルールについて知る。(知識・技能) ・自分たちの地域と旅行先の地域の違いを体験することで気付きを表現することができる。(思考力、判断力、表現力等) ・自分たちの立てた計画に沿って行動しようとする意欲を養う。(学びに向かう力・人間性等)		知	【社会: 中学部: 1段階】 身近な公共施設や公共物の役割が分かること。(イ(ア)㉞)	
		思	【国語: 中学部: 1段階】 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。(Aウ)	
		主	【社会: 中学部: 1段階】 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(ウ)	

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	評価計画		
					知	思	主
1	6/30	○仙台宿泊研修の目的・日程・活動内容の確認	・宿泊研修の写真を提示し、公共施設公共施設を利用している様子や仙台の観光地を確認する。	社会	○		○
2	7/11	○課程別自主研修で行きたい場所を調べて選ぶ。	・写真を提示し仙台近郊にある公共施設を知る。また、インターネットを活用して興味のある行き先を調べる。	社会	○		○
3	7/13	○課程別自主研修で行く場所を決定する。	・写真を提示し仙台近郊にある公共施設を知る。インターネットを活用して行く場所、移動手段や運賃・入館料・営業時間などについて調べる。昼食と夕食をとる場所を決める。	社会	○		○
4	7/13	○クラス別自主研修で行きたい場所を発表したり、調べたりする。 ○クラス別自主研修で行く場所を決める。	・写真やインターネットを活用して仙台近郊の公共施設を調べ、自主研修で行きたい場所を選ぶ。 ・自分が行きたいと思った場所を発表する。 ・クラスで話し合っって研修場所を決める。 ・決まった研修場所について、本やインターネットを活用して調べる。見たいものや見たい場所などを発表する。	社会 国語	○	○	○
5	8/29	○クラス別研修の行程や昼食場所、公共交通機関の時刻表調べを行う。	・インターネットなどを活用して可能な限り、生徒が昼食場所や時刻表を調べ、計画を練る。 ・昼食場所を話し合っって決める。	社会	○		○
6	9/1	○公共交通機関の乗り方、乗車時のマナーの確認を行う。	・バスの乗車の仕方をクイズを通して確認した後、バスや電車の模擬乗車体験をする。	社会	○		○
7	9/1	○おこづかいの使い方、買い物記録の付け方を学習する。 ○宿泊学習のしおりの帳合を行い、一時回収する。	・自主研修で使う金額の合計を計算する。 ・しおりの全ページを帳合する順番に机上に並べる。 ・それぞれのページの向きや、綴じる順番、紙の揃え方を示範して、一人一人ホチキスで綴じる。	数学			
8	9/4	○ホテルでの過ごし方について確認する。 ○部屋割りを発表する。	・ホテルに到着してからの予定や、部屋でのルールやマナー、ホテル内での服装、荷物の整理、朝食などについて確認する。 ・ホテルの配置図を示し、写真カードを貼りながら、部屋の場所や同室の生徒、教員を把握する。	社会	○		○
9	9/5	○公共の場でのマナーやルールについて確認する。	・公共の場におけるルールやマナーを○×クイズを通して確認する。	社会	○		○
10	9/6	○結団式や出発式の準備を行う。 ○しおりに仙台宿泊研修中の目標を記入する。	・代表生徒の言葉や、出発の挨拶等を担当する生徒は、教師と一緒に目標や楽しみなことを書き表す。 ・他の生徒の前で発表練習をする。	国語		○	
11	9/6	○結団式	・担当生徒を中心に結団式を運営する。	社会 国語	○	○	○
12	9/6	○最終確認を行う。	・仙台宿泊研修の行程を確認する。 ・公共施設や公共交通機関のマナー・ルールを○×クイズや三択クイズで確認する。	社会	○		○

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	評価計画		
					知	思	主
13	9/12	○写真や動画を見て、振り返りをする。	・行程順に写真や動画を見ながら、仙台宿泊研修を振り返る。C課程の自主研修の発表に注目するよう言葉掛けの支援をする。	国語		○	
14	9/12	○グループ別研修のまとめをする。(本時)	・グループ研修の行程表をまとめたものや、写真やイラストを模造紙に貼り付け装飾をする。 ・書字が難しい生徒は、「楽しかった」や「おいしかった」などの感想を記したカードの中から自分の感想を選び、貼り付ける。	社会 国語	○	○	○
15	9/13	○グループ別研修のまとめ、発表練習をする。	・発表の仕上げを行い、発表練習をする。	国語		○	
16	9/13	○グループごとに発表する。 ○まとめを行う。	・グループごとに模造紙を提示しながら、発表をする。 ・仙台宿泊研修中の良かったことや、できたことなどを伝え、称賛する。	社会 国語	○	○	○

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	
・発表の仕方を教師が示範することで、見通しをもって学習に取り組むことができた。 ・生徒の実態に配慮した教材・教具を用意し、適切な支援を行った結果、生徒がそれぞれの表現方法で仙台宿泊研修を振り返り、学習のまとめをすることができた。	

個	教科	支援・手立て	評価・メモ
A	知 社中1	写真を見ながら振り返り、訪れた施設や使用した公共交通機関を選択できるように選択肢を用意する。	好きな写真を選んで貼り、学習を振り返ることができた。
	思 国中1	選んだ物を切って貼ったり、記入したりする。	自分の思いに合った感想を書くことができた。
	主 社中1	写真やコメントを選んだり貼ったりなど、自主的な取組が見られたときは大いに称賛する。	自分の思いに合った写真を選び、レイアウトを考えながらまとめることができた。
B	知 社中1	写真を見て活動を振り返り、楽しかった活動を自分で選ぶことができるよう、精選して写真を提示する。	好きな写真を選んで貼り、学習を振り返ることができた。
	思 国中1	選んだ物を切って貼ったり、記入したりする。	自分の思いに合った感想を書くことができた。
	主 社中1	写真をたくさん用意することで意欲的に活動できるようにする。	自分の思いに合った写真を選び貼ることができた。
C	知 社中1オ (ア)⑦	写真を見ながら振り返り、訪れた施設や使用した公共交通機関を選択できるように選択肢を用意する。	好きな写真を選んで貼り、学習を振り返ることができた。
	思 国小1A (ア)	行程表を教師と確認し、経験したことや感じたことを伝えられるように感想の選択肢を用意し、自分で選ぶ。	自分の思いに合った感想シートを選ぶことができた。
	主 社中1ウ	写真をたくさん用意することで意欲的に活動できるようにする。	レイアウトを考えながらまとめることができた。
D	知 社中1オ (ア)⑦	写真を見て活動を振り返り、その中からとおきの一枚を選ぶことができるように写真やコメントを準備し選べるようにする。	数枚ある写真の中から選んで貼ることができた。
	思 国小2B1	自分の思いに近い感想シートを選び、貼ることができるよう支援する。	自分の思いに合った感想シートを選ぶことができた。
	主 社中1ウ	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	教師と一緒に選んで模造紙にまとめることができた。
E	知 社中2オ (ア)	具体的にイメージできるように、写真を見ながら訪れた公共施設や使用した公共交通機関を教師と一緒に振り返る。	好きな写真を選んだりイラストを描いたりしてまとめることができた。
	思 国中2イ	体験を通して気付いたことを事前に教師と一緒に言葉で表現してから文章に書くようにする。	体験したことを教師と一緒に振り返り、自分の言葉でまとめることができた。
	主 社中2ウ	達成感を得られるように、役割を与える。	レイアウトを考えながらまとめることができた。
F	知 社中1	教師が色々な表現の選択肢を用意しそこから自分の気持ちに近いものを選ぶ。	好きな写真を選んだりイラストを描いたりしてまとめることができた。
	思 国中1	引き出した気持ちを教師と一緒にまとめ記入する。	自分の言葉でまとめることができた。
	主 社中1	できたら称賛し達成感が味わえるようにする。	レイアウトを考えながらまとめることができた。
G	知 社中1オ (ア)⑦	写真を見て活動を振り返り、楽しかった活動を自分で選ぶことができるよう、精選して写真を提示する。	数枚ある写真の中から選んで貼ることができた。
	思 国小2イ	写真を見て活動を振り返る中で、「楽しかった。」や「疲れた。」など気持ちを表す言葉とシンボルと一緒に提示し、選んだ言葉を視写することに取り組む。	言葉とシンボルを確認して選んだ言葉を視写することができた。
	主 社中1ウ	写真やコメントを選んだり貼ったりなど、自主的な取組が見られたときは大いに称賛する。	教師と一緒に選んで模造紙にまとめることができた。

学習評価	知	公共施設でのマナーを守り、友達と一緒に行動し、研修することができた。
	思	見聞きしたことや経験したことを自分でまとめたり、教師と一緒にまとめたりして発表することができた。
	主	事前学習で決めた計画に沿って意欲的に活動することができた。また、研修場所での活動を振り返って、まとめの学習に取り組んだ。

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名	高等部1年「仙台宿泊学習に向けて」(B課程)	TI	千葉佳子			
授業日	9月12日(火)	時間	11:20~12:10	場所	1年2組教室	本時	14時間／16時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

高等部 AB課程に所属する7名の学習集団である。ほとんどの生徒が話し言葉で意思疎通ができるが、自分の気持ちや考えを言語化することが難しい生徒もいる。また、書字については漢字仮名交じりの表記ができる生徒、視写やなぞりができる生徒、全体的に支援が必要な生徒と実態は様々である。

本時は、仙台宿泊学習の事後学習で、グループ別自主研修の感想をまとめ、発表練習をする学習である「楽天グループ」での自主研修の中で印象的だったことを各自がまとめ、発表の準備をする。生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をすることで意欲を持って学習に取り組めるようにしたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○仙台宿泊学習の思い出を振り返り、色画用紙にまとめることができる。	(1)(2)(3)	(2)(3)

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1 はじめの挨拶	○日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・見守りや、言葉掛けをする。	
2 本字の学習を知る	○学習内容について説明し、見通しを持てるようにする。 ・映像を見ながら、「楽天グループ」での仙台自主研修の様子を振り返る。 ○印象に残っている思い出を各自が色画用紙にまとめ、それを模造紙に貼り付けて廊下に掲示することを伝える。	iPad 色画用紙 のり・はさみ マジックペン イラスト
3 各自でグループ別自主研修のまとめをする	○色画用紙に写真を貼ったり、イラストや感想を書いたりして装飾し思い出をまとめる。 ・生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をする。	感想の例文 吹き出し シール 模造紙
4 発表の練習をする	○各自でまとめたものを発表する。(時間があったら全員) ・13日(水)⑤に発表する代表者を決める。代表者以外の生徒は、13日(水)①②のクラスの時間等に発表の場を設ける。後日、廊下掲示をして学年全体で見合う。	ラシャ紙等
5 まとめ、次時の話を聞く	○感想文や装飾の仕方などを紹介し、称賛する。 ○次時の学習では、他のグループの発表を互いに聞き合うことを伝える。代表の生徒が発表することを伝え、見通しを持てるようにする。	
6 終わりの挨拶	○日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・見守りや、言葉掛けをする。	

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

- ・お互いの選んだ写真や映像を見ることで、楽しかった体験を思い出し振り返ることができた。
- ・生徒の実態に応じた教材・教具を準備することで、少ない支援で意欲的に学習に取り組むことができた。

単元の目標		育成を目指す主な教科等の資質・能力		
・公共のマナーや集団行動のルールについて知る。(知識・技能) ・自分たちの地域と旅行先の地域の違いを体験することで気付きを表現することができる。(思考力、判断力、表現力等) ・自分たちの立てた計画に沿って行動しようとする意欲を養う。(学びに向かう力・人間性等)		知	【社会:高等部:1段階】生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解すること。	
		思	【国語:高等部:1段階】相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。	
		主	【社会:中学部:2段階】社会に自ら関わろうとする意欲を持ち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。	

時	日付	主な学習内容	○手立て・留意点	教科	評価計画		
					知	思	主
1	6/30	○仙台宿泊研修の目的・日程・活動内容の確認	宿泊研修の写真を提示し、公共施設公共施設を利用している様子や仙台の観光地を確認する。	社会	○		○
2	7/11	○課程別自主研修で行きたい場所を調べて、選ぶ。	一人ずつインターネットを活用して仙台近郊の公共施設を調べ、自主研修で行きたい場所を選び、決定する。	社会	○		○
3	7/13	○課程別自主研修で行く場所を決定する。	インターネットを活用して行く場所、移動手段や運賃・入館料・営業時間などについて調べる。昼食と夕食をとる場所を決める。	社会	○		○
4	7/13	○クラス別自主研修で行きたい場所を発表したり、調べたりする。 ○クラス別自主研修で行く場所を決める。	・本やインターネットを活用して仙台近郊の公共施設を調べ、自主研修で行きたい場所を選ぶ。 ・自分が行きたいと思った場所を発表する。 ・クラスで話し合って研修場所を決める。 ・決まった研修場所について、本やインターネットを活用して調べる。見たいものや見たい場所などを発表する。	社会 国語	○	○	○
5	8/29	○クラス別研修の行程や昼食場所、公共交通機関の時刻表調べる。	・インターネットなどを活用して可能な限り、生徒が昼食場所や時刻表を調べ、計画を練る。 ・昼食場所を話し合って決める。	社会	○		○
6	9/1	○公共交通機関の乗り方、乗車時のマナーの確認を行う。	・公共交通機関の乗車の流れを確認する。その後、公共交通機関利用時のマナーについて考える。	社会	○		○
7	9/1	○おこづかいの使い方、買い物記録の付け方を学習する。 ○宿泊学習のしおりの帳合を行い、一時回収。	・自主研修で使う金額の合計を計算する。 ・しおりの全ページを帳合する順番に机上に並べる。 ・それぞれのページの向きや、綴じる順番、紙の揃え方を示範して、一人一人ホチキスで綴じる。	数学			
8	9/4	○ホテルでの過ごし方について確認する。 ○部屋割りを発表する。	・ホテルに到着してからの予定や、部屋でのルールやマナー、ホテル内での服装、荷物の整理、朝食などについて確認する。 ・ホテルの配置図を示し、写真カードを貼りながら、部屋の場所や同室の生徒、教員を把握する。	社会	○		○
9	9/5	○公共の場でのマナーやルールについて確認する。	・公共の場におけるルールやマナーを○×クイズを通して確認する。	社会	○		○
10	9/6	○結団式や出発式の準備を行う。 ○しおりに仙台宿泊研修中の目標を記入する。	・代表生徒の言葉や、出発の挨拶等に当たっている生徒は、教師と一緒に仙台宿泊研修中の目標や楽しみなどを書き表す。 ・他の生徒の前で発表練習を行う。	国語		○	
11	9/6	○結団式	・担当生徒を中心に結団式を運営する。	社会 国語	○	○	○
12	9/6	○最終確認を行う。	・仙台宿泊研修の行程を確認する。 ・公共施設や公共交通機関のマナー・ルールを確認する。	社会	○		○
13	9/12	○写真や動画を見て、振り返りをする。	・行程順に写真や動画を見ながら、仙台宿泊研修を振り返る。自主研修の振り返りでは、指名し、行き先やその時の感想について発表する。	国語		○	
14	9/12	○グループ別研修のまとめをする。(本時)	・自主研修の感想を記入し、行程表などまとめたものや、写真を模造紙に貼り、感想発表の練習を行う。	社会 国語	○	○	○
15	9/13	○グループ別研修のまとめ、発表練習をする。	・発表準備の仕上げを行い、発表の練習を行う。	国語		○	
16	9/13	○グループごとに発表する。 ○まとめを行う。	・グループごとに模造紙を提示しながら、発表を行う。 ・仙台宿泊研修中の良かったことや、できたことなどを伝え、賞賛する。	社会 国語	○	○	○

個	教科	支援・手立て		評価・メモ
		知	思	
A	知 社高1	自分の担当する部分を分かりやすく図や写真などを使い、文章にまとめられるよう言葉掛けをする。	写真や例文を参考にして、プラネタリウムの情報や感想を文章で表すことができた。	
	思 国高1	自分の思いや学んだことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	教師の助言を聞いて、みんなに伝わる声の大きさを、自分でまとめた文章を発表することができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、自分の課題に気付くことができた。	
B	知 社高1	自分の担当する部分を分かりやすく図や写真などを使い、文章にまとめられるよう言葉掛けをする。	例文を参考にして、行程表をまとめることができた。	
	思 国高1	自分の思いや学んだことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	教師の助言を聞いて、みんなに伝わる声の大きさを、行程表を発表することができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、自分の課題に気付くことができた。	
C	知 社高1	自分の担当する部分を分かりやすく図や写真などを使い、文章にまとめられるよう言葉掛けをする。	例文を参考にして、イービーンズの体験や感想をまとめ、写真も工夫して貼ることができた。	
	思 国高1	自分の思いや学んだことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	感想をみんなに伝わる声の大きさを、堂々と発表することができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、改善した方がよい所に気付くことができた。	
D	知 社高1	自分の担当する部分を分かりやすく図や写真などを使い、文章にまとめられるよう言葉掛けをする。	友達と相談しながら、写真や一人一人の感想や装飾のシールを丁寧に貼ることができた。	
	思 国高1	自分の思いや学んだことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	みんなに伝わる声の大きさを、自分の感想を堂々と発表することができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、自分の課題に気付くことができた。	
E	知 社高1	自分の担当する部分を相手に分かりやすくまとめる工夫ができるよう言葉掛けをする。	欠席したため活動できなかった。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを相手に伝わる言葉で表現し、発表できるように具体的に言葉掛けを行う。	欠席したため活動できなかった。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	欠席したため活動できなかった。	
F	知 社高1	宿泊学習を振り返り、担当する部分を分かりやすく図や文章にまとめられるよう具体的な例を示す。	欠席したため活動できなかった。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを相手に伝わる言葉で表現し、発表できるように具体的に言葉掛けを行う。	欠席したため活動できなかった。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	欠席したため活動できなかった。	
G	知 社高1	自分の担当する部分を相手に分かりやすくまとめる工夫ができるよう言葉掛けをする。	欠席したため活動できなかった。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを相手に伝わる言葉で表現し、発表できるように具体的に言葉掛けを行う。	欠席したため活動できなかった。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	欠席したため活動できなかった。	
H	知 社高1	宿泊学習を振り返り、担当する部分を分かりやすく図や文章にまとめられるよう言葉掛けをする。	例文を参考にして、牛タン「利久」の感想をまとめ、写真を工夫して貼ることができた。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	自分でまとめた感想を、分かりやすく大きな声で発表できた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、自分の課題に気付くことができた。	
I	知 社高1	宿泊学習を振り返り、担当する部分を分かりやすく図や文章にまとめられるよう具体的な例を示す。	見出しを書く係として、丁寧に見やすい字で書くことができた。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを相手に伝わる言葉で表現し、発表できるように具体的に言葉掛けを行う。	友達がまとめた文章を読む練習をし、みんなに伝わる声量で伝えることができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動につなげられるよう言葉掛けをする。	ワークシートで自分のまとめた内容や発表について振り返り、自分の課題に気付くことができた。	
J	知 社高1	自分の担当する部分を相手に分かりやすくまとめる工夫ができるよう言葉掛けをする。	全体のまとめの感想文を自分で考え、分かりやすくまとめて書くことができた。	
	思 国高1	自分の思いや感じたことを、話す速さや声の大きさに注意して発表できるように言葉掛けを行う。	みんなに伝わる声の大きさを、自分の感想を堂々と発表することができた。	
	主 社中2	ワークシートを使い、報告内容を整理し、今後の活動の工夫につなげられるよう言葉掛けをする。	自分のまとめた内容や発表について振り返り、役割を果たすことの大切さに気付くことができた。	

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)

○教師が模造紙の使い方の手本を用意し、模造紙のどの部分に自分の文章や図を書くのか分かりやすく伝え、二つのグループに分けて、まとめの役割分担を行ったことで、スムーズに活動できた。

○欠席者が半数いたため、時間内に終わることができなかった。発表の練習まで1時間では無理があった。

学習評価	知	公共施設でのマナーを守り、公共物の扱い方を考えて行動し、研修することができた。
	思	相手に伝わるような感想を各自でまとめ、大きな声で発表することができた。
	主	研修地に興味を持ち、意欲的に活動し、地域社会での正しい過ごし方を学ぶことができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名	高等部1年「仙台宿泊学習に向けて」(C課程)	TI	村上 恵理
授業日	9月12日(火)	時間	11:20~12:10	場所	1年4組教室
				本時	14時間/16時間

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

高等部C課程に所属する10名の学習集団である。言葉で意思疎通ができ、自分の気持ちや考えを文章や話し言葉で表現できる生徒がほとんどである。文章表現が苦手な生徒が数人いる。全体的には口頭指示が通るが、視覚的な支援を必要とする生徒も数人いる。個別に言葉掛けを行い、友達と協力して宿泊学習のまとめができるよう支援していく。

本時は、仙台宿泊学習の事後学習で、グループ別自主研修の感想をまとめ、発表練習をする学習である。「天文台」での自主研修の中で印象的だったことを各自がまとめ、役割分担をして、Cグループの発表の準備をする。生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をすることで意欲を持って学習に取り組めるようにしたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○仙台宿泊学習の思い出を振り返り、色画用紙にまとめることができる。 ○まとめの原稿を作成し、発表の練習をすることができる。	(1)(2)(3)	(2)(3)

学習活動(時間)	○手立て・留意点	準備物等
1 はじめの挨拶	○日直の号令に合わせて挨拶をする。 ・見守りや、言葉掛けをする。	
2 本時の学習を知る	○学習内容について説明し、見通しを持てるようにする。 ・写真を見ながら、「天文台」「イービーンズ」「昼食、夕食場所」での仙台自主研修の様子を振り返る。	iPad 色画用紙 のり・はさみ マジックペン
3 各自でグループ別自主研修のまとめをする	○色画用紙に写真を貼ったり感想を書いたりして装飾し思い出をまとめる。 ・生徒の実態に応じた教材・教具を準備し、適切な支援をする。	星や宇宙のイラストや写真 感想の例文 吹き出し シール 模造紙
4 役割分担を決めて、分かりやすく色画用紙にまとめる。	○「行程表」「天文台」「イービーンズ」「昼食、夕食」「見出し、編集後記」などまとめる部分を2人ずつ分担して、活動する。 ・感想やまとめ方の例を示して、分かりやすく工夫してまとめられるように促す。	
5 発表の練習をする	○各自でまとめたものを模造紙に貼り、順番に発表する。 ・13日(水)⑤に発表するところの原稿を各自作成し、発表練習を行う。全員で発表を行う。 ・後日、廊下掲示をして学年全体で見合う。	

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

- 自分が担当する部分の下書きや、原稿を教師の助言を聞き、各自まとめることができた。
- 欠席者が多い中、友達の分担の所を、協力して完成させることができた。
- 自分たちが行った場所や体験したことを、資料などをもとに思い出して感想をまとめることができた。

主な教材教具	場の設定
・模造紙 ・マジックペン ・シール ・写真 ・定規 ・マスキングテープ	・教室を左右2つに分ける。模造紙2枚を用意し、役割分担して、二つのグループに分かれて、まとめを行う。

単元シート(高等部2年)

指導形態名	教科別の指導(美術)	題材・単元名	造形作品を制作しよう			
題材・単元の 目 標	① 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 (知識・技能) ② 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) ③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 (学びに向かう力、人間性等)					
知	【教科】美術 【学部】高等部 【段階】高2A表現ア(イ)	材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すこと。				
思	【教科】美術 【学部】高等部 【段階】高2共通事項ア(イ)	造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解すること。				
主	【教科】美術 【学部】高等部 【段階】高1ウ	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
指導期間	8/31③④、9/1③④ 9/5③④、9/6③④、9/7⑤	場 所	集会室、 各教室	時 数	9時間	
日時	活動内容			評価計画		
				知	思	主
8/31(木)③ 集会室	「紙版画制作の流れを知ろう」 ・スライドを使い、単元の流れや版画制作の流れを知る。 ○写真やイラストを多く使い、視覚的に理解しやすいようにする。 ・図案を考えてから作品制作をすること、その後タイトル等を考えて発表をすることを伝える。 ○参考作品の図案を提示したり、制作のデモンストレーションをしたり、タイトルの考え方を伝えたりして、作品制作の流れを知り、見通しを持つことができるようにする。 ○参考作品を複数提示することで、制作のイメージができるようにする。			○		
8/31(木)④ 集会室	「紙版画の図案を考えよう」 ・スライドや資料を用いて図案の考え方を知る。 ○写真やイラストを多く使い、視覚的にイメージしやすくする。 ○モチーフから形を参考にしたり、色を参考にしたりするなど様々な視点からデザインを考えることができるようになる。 ・ワークシートに図案を描く。 ○考えたことや好きなものについてワークシートにメモし、タイトルを考えたときの手掛かりを作ることができるようにする。 ○図鑑や資料、タブレット端末などを用意し、図案のイメージを持ちやすくする。 ○実際に使う素材を見たり紙をモチーフの形に切ったりして、どのように作品が仕上がるかイメージできるようにする。 ・片付けをして次回から実際に版を作ることを伝え、まとめる。				○	○

単元シート(高等部2年)

<p>9/1 (金) ③④ 各教室</p>	<p>「版を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図案を確認しながら、画用紙で版を作る。 ・木工用ボンドで画用紙を貼り合わせる。ボンドが乾いていないままだと、版を刷った際、版が破けるので、この日は版を刷らない。 <p>○画用紙を重ねすぎるときれいに版を刷ることが難しくなるので、画用紙を重ねるときは2、3枚にとどめるようにする。</p>	○	○	○
<p>9/5 (火) ③④ 9/6 (水) ③ 各教室</p>	<p>「版を刷ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机に新聞紙を敷き、汚れを防止する。 ・本日の授業の流れを説明する。 <p>○参考作品を提示して、制作のイメージができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版に絵の具を乗せて刷る。 <p>○絵の具の色や画用紙の色を変えて、お気に入りの1枚を選ぶことができるようにする。</p> <p>○絵の具を乾かす間に、新たに版を作ってもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/5にほぼ完成させ、9/6は仕上げに当てるのが望ましい。 	○	○	○
<p>9/6 (水) ④ 各教室</p>	<p>「タイトルを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業で、タイトルを考えること、頑張ったことや工夫したことをワークシートにまとめ、発表することを伝える。 <p>○タイトルの考え方などを伝え、活動に見通しを持つことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品のタイトルをワークシートに記入する。 <p>○タイトルが決まらないときは、教師が生徒の作品を見て、イメージを一緒に考えたり、何をイメージして作ったのか聞いたりしてタイトルを考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作で工夫したところや頑張ったところをワークシートにまとめる。 <p>○思い付かないときは、何をもとにして図案や色味を考えたのか、自分の好きな物などを作品に生かすことができたのかななどを教師が聞き出し、まとめることができるようにする。</p>		○	○
<p>9/7 (木) ⑤ 集会室</p>	<p>「鑑賞会をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を並べ互いに鑑賞する。 <p>○作品やワークシートを見て、友達の作品の良いところに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かに発表をしてもらう。 ・片付け、全体のまとめをする。 		○	○

<単元の反省>

○楽しく作品制作ができた生徒が多かった。

○鑑賞会では互いの作品を見て、コメントカードを書いた。「かっこいいね。」「かわいいね。」などのコメントを友達から書いてもらい、嬉しそうな様子の生徒もいた。

●顔や目、胴体、足などとパーツごとに分けて版を作るということの理解が難しく、細かく図案を描いて版作りが思うように進まない生徒もいた。図案を考えるときはシンプルなものにすること、パーツごとに画用紙を切って重ね合わせて版を作ることを、生徒とITの先生たちに共通理解してもらえるように工夫したい。

●絵の具の量や水分量、画用紙の耐久性によってうまく版が刷れない場合があった。うまく刷れるように練習をする生徒もいたが、飽きてしまう生徒もいたため、より自分の納得のいく作品を完成させるためにどのように言葉掛けをすれば良いか考える必要があると思った。

●鑑賞会で、友達からもらったコメントカードの数に差が出てしまった。

単元シート(高等部2年)

評価シート

個	教科	支援・手立て	評価・メモ	
2年1組				
A	知	高1イ	制作の示範や参考作品を見たりすることで制作に見通しを持つことができるようにする。	紙版画を制作することを知り、活動に見通しを持って取り組むことができた。
	思	高1ア	自分の好きなものやイメージなどをもとに教師とやり取りしながら、テーマを考えたり、色使いに生かしたりすることができるようにする。	自身の興味のあるロゴを選択しデザインをすることができた。 版画制作で、うまく版画が刷れないときには、絵の具の濃さを調節し、きれいに刷れるように工夫することができた。
	主	高1ウ	鑑賞会などを通し、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達から、作品に「インパクトが強い。」「すごい。」などの言葉が書かれたコメントカードをもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。
B	知	中1Aア(イ)	デザインの選択肢を複数準備し、好きなものを選択できるようにする。	興味のあるデザインをいくつか提示することにより、その中から関心のあるキュウレンジャーのイラストを選び、教師と一緒にデザインすることができた。
	思	中1Aア(ア)	教師と一緒に紙版画のパーツをはさみで切ったり、色を選んだりし、自分の作品のイメージを表現できるようにする。	教師と一緒に下絵に沿って紙版画のパーツをはさみで切ることができた。着色は本人の思う通りに行き、最後の版画工程は教師が手を添えて行き、満足のいく作品が完成した。
	主	中1ウ	鑑賞会などを通し、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達から、作品に「カッコいい。」「色がきれい。」などの言葉が書かれたコメントカードをもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。
C	知	中1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見ることで制作に見通しを持つことができるようにする。	制作過程の説明に興味を持ち、活動に見通しを持って取り組むことができた。
	思	中1Aア(ア)	自分の好きなものやイメージなどをもとに教師とやり取りしながら、テーマを考えたり、材料や用具の特性を生かしたり、表現方法を工夫することができる。	葉っぱや四つ葉、花などの小さな紙版画のパーツをたくさん並べるデザインを考え、台紙にレイアウトしながら貼って版を作成した。版画活動では、版の形ごとに水色、緑、黄色、赤、紫を選んで色ごとに刷り、作品が完成すると満足していた。
	主	中1ウ	制作に必要な道具は自分から教師に要求するように伝え、時間をうまく使って制作を進めるように工夫する。	美術の授業には参加できなかったが、朝学習の時間や休憩時間などをうまく使って制作を進め、版画を完成することができた。
D	知	中1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見ることで制作に見通しを持つことができるようにする。	制作過程の説明に興味を持ち、見本の紙版画を手に取り確認することで学習に見通しを持ってデザインを考えることができた。
	思	中1Aア(ア)	自分の好きなものやイメージなどをもとに教師とやり取りしながら、テーマを考えたり、色使いに生かしたりすることができるようにする。	楽しい雰囲気を表現したいと笑顔のニコニコマンというキャラクターをデザインし、画用紙での版作成も手早く行うことができた。版画活動では、元気なイメージにしたいと赤、緑、青の3色を選んで刷ることができた。
	主	中1ウ	鑑賞会などを通し、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では楽しい作品にするためにキャラクターを創造したことを紹介することができた。友達からの「かわいいですね。」などの評価のコメントカードをたくさんもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。
E	知	小1A	教師の見本を参考に、自分が表したい作品をイメージできるようにする。自分の好きなものを表現できるように助言する。	興味のあるデザインをいくつか提示することにより、その中から関心のあるお寿司のイラストを選び教師と一緒にデザインすることができた。
	思	小1ア	自分で紙版画のパーツをはさみで切ったり、色を選んだりし、自分の作品のイメージを表現できるようにする。	紙版画のデザインに教師が線を描き入れることにより、線に沿ってはさみで切り、版画の原盤を作ることができた。
	主	小1ウ	鑑賞会で友達の作品のよいところを探して称賛したり、自分の作品を称賛してもらったりすることで達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達の作品から良いと思う作品を数点選ぶことができた。友達から、「おいしそう。」「すごい。」などの言葉が書かれたコメントカードをもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。
F	知	中1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見たりすることで制作に見通しを持つことができるようにする。	紙版画を制作することを知り、活動に見通しを持って取り組むことができた。
	思	中1Aア(ア)	制作物の内容を聞いて自分でモチーフを考えるようにする。イラスト等が必要などきは iPad を使用する。	参考作品を見たりタブレット端末で調べたりして、好きなヒーローキャラクターなどのデザインを自分で考えることができた。下絵に沿って紙版画のパーツをはさみで切ってレイアウトすることができた。着色は本人の思う通りに行き、満足のいく作品を完成することができた。
	主	中1ウ	鑑賞会などを通し、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達から、作品に「カッコいい。」「色使いがカラフル。」などの言葉が書かれたコメントカードをもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。
G	知	中1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見ることで制作に見通しを持つことができるようにする。	紙版画を制作することを知り、活動に見通しを持って取り組むことができた。
	思	中1Aア(ア)	制作物の内容を聞いて自分でモチーフを考えるようにする。イラスト等が必要などきは iPad を使用する。	参考作品を見たりタブレット端末で調べたりして、好きな「鬼滅の刃」のキャラクターを選択しデザインを自分で考えることができた。下絵に沿って紙版画のパーツをはさみで切ることができた。着色は本人の思う通りに行き、満足のいく作品を完成することができた。
	主	中1ウ	鑑賞会などを通し、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達から、作品に「上手です。」「カッコいいね。」などの言葉が書かれたコメントカードをたくさんもらい、頑張って作品を完成させた達成感を得ることができた。

単元シート(高等部2年)

2年2組

H	知	小IA	教師の見本を参考に、自分が表したい作品をイメージできるようにする。自分の好きなものを表現できるように助言する。	教師の見本を見た後に、自分の名前書くことを本人と一緒に決めた。自分の名前を大きく教師と一緒に書き、その上にちぎった紙を貼っていった。青色の綺麗な作品をつくることができた。
	思	小A	自分で紙版画のパーツをはさみで切ったり、色を選んだりし、自分の作品のイメージを表現できるようにする。	絵の具を何色が事前に示し何色で作品を作りたいかきくと「青。」と自分で選ぶことができた。自主的に作品を制作することができた。
	主	小ウ	鑑賞会で友達の作品のよいところを探して称賛したり、自分の作品を称賛してもらったりすることで達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では、それぞれの良いところを伝えるために good カードを渡して伝えた。渡すときには嬉しそうな表情であった。自分の作品を称賛する内容の good カードをたくさんもらってうれしそうな表情を見せた。
I	知	高1	制作の示範や参考作品を見たりして、制作に見通しを持つことができるようにする。	参考作品を見せたり、モチーフをパーツごとに分けて版を作るように教師が説明をしたりすることで、制作に見通しを持って活動することができた。
	思	高1A	参考作品がどのようなことをテーマに制作されたか説明することで、自分で作品のモチーフを考えるときに、自分の好きなものや趣味、思い出などを参考にすることができるようにする。	自分の好きなアニメ「おジャ魔女どれみ」に出てくるキャラクターをモチーフに選び、楽しんで制作することができた。目やまつげ、前髪など細かいパーツが多かったが教師と相談しながら、一つ一つパーツに分けて版の図面を考えて描くことができた。
	主	高1ウ	制作した後に、制作で頑張ったことや工夫したことを振り返り、鑑賞会で友達の作品を見ることで、自分や友達の作品の良いところを感じることができるようにする。	作品制作が終わった後、タイトルカードに自分の作品の工夫した点や頑張った点を記入し、制作を頑張ったことに達成感を得ることができた。鑑賞会で友達の作品の良いところで、「かわいいね。」などの気持ちをコメントカードに書いて伝えることができた。
J	知	中IAア(イ)	参考作品や図案の例を見たり、制作の示範を見たりして制作の見通しを持つことができる。	教師の参考作品や版の作り方を見て、制作に見通しを持ち、モチーフをパーツごとに分けて図案を考えることができた。
	思	中IAア(ア)	自分の好きなものや興味のあるものを考え、作品のモチーフに選ぶことができる。	自分の好きなアニメ「トイストーリー」に出てくるキャラクターをモチーフに選び、楽しんで制作することができた。
	主	中1ウ	自分の好きなものを一生懸命制作している姿や頑張って制作をやり遂げたことを称賛し、制作の楽しさを感じたり達成感を得たりすることができるようにする。	版のパーツが多くなり複雑になったが、パーツをはさみで切ってボンドで貼り合わせる作業に最後まで粘り強く取り組み、版を完成させて画用紙に刷ることができた。完成した作品を教師や友達から称賛され嬉しそうな表情を見せた。
K	知	中IAア(イ)	参考作品を見たり、制作の示範を見たりして制作の見通しを持つことができるようにする。	参考作品や版の作り方の示範を見て、制作に見通しを持つことができた。
	思	中IAア(ア)	自分の好きなものや興味のあるものを考え、作品のモチーフに選ぶことができるようにする。	自分の好きなアニメ「推しの子」に出てくるキャラクターや自分の好きな動物であるうさぎをモチーフに選び、楽しんで制作することができた。教師と相談しながらモチーフをパーツごとに分けて図案を考え、版を制作することができた。
	主	中1ウ	自分の好きなものを一生懸命制作している姿や頑張って制作をやり遂げたことを称賛し、制作の楽しさを感じたり達成感を得たりすることができるようにする。	画用紙の版をパーツごとに切る際、人物の前髪やまつげなど細かくはさみで切る作業があったが、集中して最後まで自分で取り組むことができた。また、ほしい色の絵の具がなかったとき、教師と一緒に混色し、ほしい色の絵の具を作ることができた。自分で作った絵の具で刷った作品に満足したようで、「きれいにできたね。」と教師が称賛すると嬉しそうな様子を見せた。
L	知	中IAア(イ)	参考作品を見たり、制作の示範を見たりして制作の見通しを持つことができるようにする。	参考作品や版の作り方の示範を見ることで、制作に見通しを持って活動することができた。
	思	中IAア(ア)	自分の好きなものや興味のあるものを考え、作品のモチーフに選ぶことができるようにする。	普段自分が着ている T シャツに描かれた「クレヨンしんちゃん」のキャラクターをモチーフにして版を作ることができた。版を刷るとき、輪郭線が絵の具の量が多くて潰れてしまったときは、教師と確認しながら絵の具の量に気を付けて次の版を刷ることができた。
	主	中1ウ	自分の好きなものを一生懸命制作している姿や頑張って制作をやり遂げたことを称賛し、制作の楽しさを感じたり達成感を得たりすることができるようにする。	作品制作が終わった後、タイトルカードに自分の作品の工夫した点や頑張った点を記入し、制作の振り返りをした。振り返ったことをもとに、作品の良いところも合わせて称賛することで、頑張って制作したことに達成感を感じることもできた。
M	知	中IAア(イ)	参考作品を見たり、制作の示範を見たりして制作の見通しを持つことができるようにする。	参考作品や版の作り方の示範を見ることで、制作に見通しを持って活動することができた。
	思	中IAア(ア)	自分の好きなものや興味のあるものを考え、作品のモチーフに選ぶことができるようにする。	作品のモチーフに自分の好きなキャラクターである「シナモロール」を選び、図案を考え、教師と一緒にパーツごとに分けて図を描き、版を制作することができた。
	主	中1ウ	自分の好きなものを一生懸命制作している姿や頑張って制作をやり遂げたことを称賛し、制作の楽しさを感じたり達成感を得たりすることができるようにする。	作品制作が終わった後、タイトルカードに自分の作品の工夫した点や頑張った点を記入し、制作の振り返りをした。振り返ったことをもとに、作品の良いところも合わせて称賛することで、頑張って制作したことに達成感を得ることができた。作品を「かわいいね。」と褒められ嬉しそうな表情になった。
N	知	高1	制作の示範や参考作品を見たりして、制作に見通しを持つことができるようにする。	教師の示範や参考作品を見て、制作に見通しを持つことができた。
	思	高2ア	参考作品がどのようなことをテーマに制作されたか説明することで、自分で作品のモチーフを考えるときに、自分の好きなものや趣味、思い出などを参考にすることができるようにする。	作品のモチーフに自分の好きな動画配信サイトのキャラクターをモチーフに選んで、版を制作することができた。版を繰り返し画用紙に刷ることで、面白い画面になるようにと自分で工夫することができた。
	主	高	制作した後に、制作で頑張ったことや工夫したことを振り返り、鑑賞会で友達の作品を見ることで、自分や友達の作品の良いところを感じることができるようにする。	作品制作が終わった後、タイトルカードに自分の作品の工夫した点や頑張った点を記入したり、鑑賞会で友達の作品の良いところや好きなところをコメントカードに書いたりすることができた。

単元シート(高等部2年)

評価シート

個	教科	支援・手立て		評価・メモ
2年3組				
O	知	中IA(イ)	教師の見本を参考に、自分が表したい作品をイメージできるようにする。	自分が表したいクラゲや魚をイメージし、紙版画に表すことができた。
	思	中IA(ア)	自分が表したいことを、自分で表し方を考えるように言葉掛けをし、分からないところは相談するように伝える。	自分が表したいことや、一枚刷りにするか連版にするか、台紙の色やパーツの色なども考えることができ、クラゲや魚を制作することができた。
	主	中ウ	自分の表したいものを表せる喜びと満足感を感じることができるよう、うまくいかないときには助言を行う。	版画を刷るときに、色がうまくでなかったり、かすれたりしたが、教師の助言を参考に、何度も挑戦し、最終的には自分の満足する作品を作ることができた。
P	知	高I	材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫することができる。	パーツ作りで細部を表現するためにカッターを使用して制作することができた。
	思	高ア	自分のイメージどおりに構想を考えることができるよう、全体図を描いてみるように助言する。	全体図を描いた後に、さらにイメージを膨らませ構図を考え、版を刷ることができた。
	主	高ウ	色使いを考えながら制作することを楽しくめるように、見守る。	元の構図にとらわれず自分で色を決め、作品を作ることができた。
Q	知	中IA(イ)	教師の見本を参考に、自分が表したい作品をイメージできるようにする。	自分が表したい家や小鳥、雲をイメージし、紙版画に表すことができた。
	思	中IA(ア)	自分が表したいことを、どう表現するか考えるよう言葉掛けし、分からないところは相談するように話す。	自分が表したいことをじっくり考えることができた。紙版画のパーツ作りは、細かい作業だったこともあり、教師に相談しながら自分のイメージする物を制作することができた。
	主	中ウ	自分の表したいものを表せる喜びと満足感を感じることができるよう、うまくいかないときには助言を行う。	版画を刷るときに、なかなか色がうまくでなかったが、教師の助言を参考に、自分が満足するまで何度も刷り、最終的に自分の満足する作品を作ることができた。
R	知	小IA(イ)	はさみの使い方のコツを伝え、教師が補助しながら練習し、最終的には自分で切ることができるようになる。	はさみの持ち方、使い方を覚えることができた。最初は教師が画用紙を持つと切ることができたが、最終的には自分で画用紙を持って切ることができるようになった。
	思	小IA(ア)	はさみで切って、自分で模様を作るようにする。	はさみで画用紙を切って、自分で紙版画のパーツを作ることができた。
	主	小ウ	自分で紙版画のパーツをはさみで切ったり、色を選んだりし、進んで作ってみようとする態度を養えるようにする。	自分から進んで紙版画のパーツをはさみで切り、色を選び、楽しんで作ることができた。
S	知	中IA(イ)	ポスターカラーの色を選択する際に、イメージができるように提示する。	「海の生き物」というテーマを決め、赤と青のポスターカラーを選択することができた。
	思	中IA(ア)	教師の見本を見て、全体の構図が考えられるように助言する。	見本を見て、パーツを4つ大きく作成することができた。
	主	中ウ	工夫するところを教師と一緒に考え、版画のパーツ作りができるようにする。	くじらの腹部、かめの甲羅の形を工夫することに教師と決め、丁寧にはさみで切り作成することができた。
T	知	高I	ブルーインパルス細部の色づけについて教師と一緒に考えながら作業が進められるよう言葉かけをする。	ブルーインパルスの細部をどう表現するか相談し、綿棒を使用して完成させることができた。
	思	高ア	自分の好きなものを表現できるように助言する。	自分の好きなものをイメージどおりに表現することができた。
	主	高ウ	パーツの大きさを考慮しながら全体構図を教師と一緒に考える。	生き物の大きさを確認できたことで、イメージどおりに制作できて喜ぶ様子が見られた。

単元シート(高等部2年)

2年4組

U	知	美中1Aア(イ)	教師の説明を聞いたり、示範や複数の参考作品を提示したりすることで、活動に見通しを持つことができるようにする。	紙版画を制作することを知り、活動に見通しを持って取り組むことができた。
	思	美中1Aア(ア)	自分の好きなものやイメージなどを基に教師とやり取りしながら、テーマを考えたり、色使いに生かしたりすることができるようにする。	自分の好きなキャラクターを組み合わせ、オリジナルのキャラクターをデザインすることができた。
	主	美中1ウ	自分の表したいものを表せる喜びと満足感を感じることができるよう、助言を行う。	教師の示範を見ながら体、目、口などをパーツごとに描き、切り抜いて版を作り、自分の好きな色に着色して楽しみながら作品を制作することができた。
V	知	美中1Aア(イ)	教師の説明を聞いたり、示範や複数の参考作品を提示したりすることで、活動に見通しを持つことができるようにする。	教師の説明を聞き、示範や参考作品を見ることで、やり方を理解して活動に取り組むことができた。
	思	美中1Aア(ア)	自分の好きなものやイメージなどを基に教師とやり取りしながら、テーマを考えたり、色使いに生かしたりすることができるようにする。	参考作品を見たりタブレット端末で調べたりして、好きなキャラクターなどのデザインを自分で考えることができた。
	主	美中1ウ	自分の表したいものを表せる喜びと満足感を感じることができるよう、助言を行う。	2色の絵の具を混ぜてイメージした色を作ったり、作品のタイトルを工夫したりして、楽しみながら作品制作に取り組むことができた。
W	知	美中(1)	教師の制作の示範を見たり、参考作品を見たりして活動に見通しを持つことができるようにする。	紙版画の版の作り方や版の刷り方や参考作品を見たりすることで制作のイメージを持つことができた。
	思	美小3ア(ア)	教師とのやり取りをとおし、自分の好きなものや興味のあるものをモチーフに選ぶことができるようにする。	教師との会話をとおして自分の好きなものである日本の国旗をモチーフに選ぶことができた。また、自分でオリジナルのマークを考えることができた。
	主	美小(3)	鑑賞会などをおし、頑張って制作したことを称賛することで作品を完成させたことに達成感を得ることができるようにする。	タイトルカードに、工夫したことや頑張ったことを記入することができた。それとともに作品を完成させたことについて「すごいね。素敵な色合いだね。」と称賛することで、嬉しそうな様子で達成感を感じることができた。
X	知	小図工2A表現(イ)	デザインの選択肢を複数準備し、好きなものを選択できるようにする。	本人が好きなキャラクターのイラストを数点用意すると迷わずに「カモノハシバリー」を選択した。
	思	小図工2B鑑賞ア(ア)	鑑賞会で他の生徒の作品の良いところを探して称賛する。	他の生徒の作品から良いと思う作品を数点選んだ。感想は教師が聞き取って記入した。
	主	中1ウ	描いたり、色を塗ったりする中で創作活動を楽しむことができるようにする。	下絵は教師と一緒に鉛筆で描くことができた。着色は本人の思う通りに行い、最後の版画工程は教師が手を添えて行い、満足のいく作品が完成した。
Y	知	中美術2ア	制作物の内容を聞いて自分でモチーフを考えるようにする。イラスト等が必要なときはiPadを使用する。	iPadのイラストを参考に飛行機のデザインを作成した。また自分で考えた電車のデザインも作り、熱心に取り組んだ。
	思	中美術2イ	鑑賞会で他の生徒の作品の良いところを探して称賛する。	タイトルカードに他の生徒の作品の感想を記入した。「色違いが素敵です。」とか「デザインがかわいいです。」などと感想を書くことができた。
	主	中美術2ウ	制作に必要な道具は自分から教師に要求するように伝え、時間をうまく使って制作を進めるように工夫する。	美術の授業には参加できなかったが、朝学習の時間や休憩時間などをうまく使って制作を進め、版画を完成させることができた。
Z	知	美高1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見たりすることで制作に見通しを持つことができるようにする。	教師の示範を見たり助言を聞いたりしながら版をきれいに刷ることができた。
	思	美高1B(ア)	教師とのやり取りをとおして、自分の好きなものや興味のあるものを作品のモチーフに選ぶことができるようにする。	モチーフ選びにとても迷ったが、教師とのやり取りをとおし、「ワンピース」のドクロマークをモチーフに選ぶことができた。
	主	美高1ウ	頑張って制作をしたことを称賛することで、作品を完成させたことに対する達成感を得ることができるようにする。	きれいに版を刷ることができ、モチーフの輪郭がくっきりと見える作品が仕上がった。教師や友達に「すごいね。きれいだね。」と称賛され、嬉しそうな様子を見せ、達成感を得ることができた。
AA	知	美中1Aア(イ)	制作の示範や参考作品を見たりすることで制作に見通しを持つことができるようにする。	参考作品や教師の制作の示範を見ることで、制作に見通しを持つことができた。
	思	美中1Aア(ア)	教師とのやり取りをとおして、自分の好きなものや興味のあるものを作品のモチーフに選ぶことができる。	モチーフに自分の好きなうさぎやリボンを選ぶことができた。教師と話しながら、作品になる画用紙の色や使う絵の具の色を考えることができた。
	主	美中1ウ	頑張って制作をしたことを称賛することで、作品を完成させたことに対する達成感を得ることができるようにする。	鑑賞会では友達から、作品に「かわいいね。」「すごい。」などの言葉が書かれたコメントカードをたくさんもらい、頑張って作品を完成させた達成感を感じることができた。

学習評価	知	参考作品や制作の示範を見ることで制作にイメージを持つことができた。また、パーツごとに分けて版を作ることを個別で説明したり、絵の具による混色やはけにつける絵の具の量や版の刷り方を個別で示範したりすることで、多くの生徒が見通しを持って制作を進めることができた。
	思	生徒たちそれぞれが、自分の好きなキャラクターや興味のあるものの特徴を捉え、図案を作り、版を制作することができた。また、使う絵の具と画用紙の色の組み合わせも、作品のイメージに合った色合いや自分にとって心地の良い色合いを考え、選ぶことができた。
	主	自分の好きなものや興味のあるものを表現し、頑張って作品を完成させることで達成感を得ることができた。また、鑑賞会をとおし、友達や教師から作品の良いところを称賛されたり、友達の作品の良いところを見付けようとしたりすることで、お互いの作品の良いところに気づき、作品の面白さを感じることができた。

【授業シート】		学部・学年・題材／単元名	高等部 2 年 造形作品を制作しよう	TI	新家 優
授業日	8月31日(木)	時間	11:00~11:50	場所	集会室
				本時	2/9

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

- ・生徒数27人(男子18人、女子9人)。全員が知的障害を有し、他に自閉症や肢体不自由を併せ有する生徒もいる。
- ・絵の具で色を塗る、はさみで紙を切る、紙をびりびりに破く、のりで紙を貼り付けるなどの活動を自分でできる生徒から、教師と一緒にを行う生徒など実態の幅がある。
- ・版画制作において、図案や版を作る際には自分の感じたことを表現する楽しさを感じてもらいたい。また、版を刷った時の、紙に写った絵の具の色味や絵の具の乗り具合の偶然性や面白さを感じてもらいたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○自分の好きなものや興味のあるものをもとに版画の図案を考えることができる。	② ③	高2A共通事項ア(イ) 高1ウ

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1.スライドや資料を用いて図案制作の方法を知る。(10分)	<p>「紙版画の図案を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真やイラストを多く使い、視覚的にイメージしやすくする。 ○モチーフから形を参考にしたり、色を参考にしたりするなど様々な視点から図案を考えられることができるようにする。 ○考えたことや好きなものが何かワークシートにメモを残し、タイトルを考えると時の手掛かりを作ることができるようにする。 ○図鑑や資料、タブレット端末などを用意し、デザインのイメージを持ちやすくする。 ○実際に使う素材を見たり紙をモチーフの形に切ったりして、どのように作品が仕上がるかイメージできるようにする。 ○図を描くことが苦手な生徒は、使いたい素材などをワークシートに載せたものの写真を撮って、図案として利用しても良い。 ○片付けをして、次回から実際に版を制作をすることを伝え、まとめとする。 ○図案を紹介したい生徒がいれば指名し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・タブレット端末 ・ワークシート ・紙、画用紙 ・版にする素材 ・参考資料
2.ワークシートに図案を描く。(30分)		
3.片付け、まとめ(10分)		

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)

- ・生徒は自分の好きなものや興味のあるものの図案を参考にしながら楽しんで考えていて良かった。
- ・見本や資料、タブレットなどを用意したことで作品のモチーフ選びがしやすくなり、制作のイメージを持ちやすくなった。
- ・実際の見本を制作したときの動画(写真)があるとよかった。
- ・B課程の生徒に向け、説明をより簡潔にしたり小分けにしたりする。または、視覚的に分かりやすいものだと良かった。
- ・見本は良い。一方で、版画としての図案で作りやすいものや難しいものの違いや、失敗例の具体的な説明があると良かった。
- ・実際に版を刷って提示し、版を刷った時のイメージをより持つことができると良かった。

【授業シート】	学部・学年・題材／单元名	高等部 2 年 造形作品を制作しよう	TI	新家 優			
授業日	8月 31 日(木)	時間	11:00~11:50	場所	集会室	本時	2/9

(以下は任意で記入)

主な教材教具	場の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・タブレット端末 ・ワークシート ・紙、画用紙 ・版にする素材 ・参考資料 	<p>The diagram illustrates the classroom layout. At the top is a horizontal rectangle labeled 'ホワイトボード' (Whiteboard). Below it is a horizontal rectangle labeled '長机' (Long table) with a circle labeled 'TI' (Teacher) to its right. Below the long table are four rectangular tables arranged in a 2x2 grid, labeled '1組', '2組', '3組', and '4組'. Each table has several circles labeled 'T' (Students) around it: Group 1 has two 'T's on the top and two on the left; Group 2 has two 'T's on the left and one at the bottom; Group 3 has one 'T' on the top right, two on the right, and one at the bottom; Group 4 has one 'T' on the right and one at the bottom.</p>

単元シート(高等部3年)

指導形態名	教科別の指導(国語)	題材・単元名	いろいろな言葉に親しもう(AB課程)					
題材・単元の目標	①自然や季節の言葉、易しい文語調を取り入れた短歌や俳句を音読し言葉の響きやリズムに親しむ。書くことに関し、姿勢や筆記具の持ち方を正し、字形に注意して書くことができる。(知識・理解) ②生活に身近なことわざを知り、使うことにより様々な表現を楽しむ。(思考力・判断力・表現力等) ③言葉が持つ良さに気付くとともに、言葉を使って思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)							
知	(1)自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 (2)挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ること。 (3)語のまとまりに気を付けて音読すること。							
思	(4)見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。							
主	(上記の学習内容を主体的に学び、生活に生かそうとする態度を養う。)							
指導期間	6/26-9/21	場所	3-3	時数	7	T1(TT)	遊佐(及、高、峯、富)	
日時	活動内容					評価計画		
						知	思	主
6/21	○「うみ」を読んでみよう ・歌詞を聞き、読んだり書いたりする。 ・歌詞の場面の様子をイメージし、イラストを貼る。 ・「うみ」の歌を学習した各場面と合わせながら聴く。					0	0	0
6/26 7/3	○「おおがたバス」を読んでみよう ・歌詞を聞き、読んだり書いたりする。 ・歌詞の場面の様子をイメージし、イラストを貼る。 ・「おおがたバス」の歌を学習した各場面と合わせながら聞く。					0	0	0
7/11	○「あめにもまけず」を読んでみよう ・一斉に詩を聞き、読んだり書いたりする。 ・NHKforschoolの「あめにもまけず」を視聴する。					0		
9/13	○「あめにもまけず」を読んでみよう ・一斉に詩を聞き、読んだり書いたりする。 ・NHKforschoolの「あめにもまけず」を視聴する。 ・宮沢賢治について勉強しよう (動画視聴・ワークシート)							0
9/19	○「あめにもまけず」を読んでみよう ・一斉に詩を聞き、読んだり書いたりする。 ・詩の情景や場面の様子をイメージしイラストを貼る。(前半) ・NHKforschoolの「あめにもまけず」を視聴する。					0		
9/21	○「あめにもまけず」を読んでみよう ・一斉に詩を聞き、読んだり書いたりする。 ・詩の情景や場面の様子をイメージしイラストを貼る。(後半) ・詩の全文を情景や場面を確認して、読んでみよう。					0	0	0
<単元の反省> ・物語を扱うにあたって、身近な歌の歌詞を取り上げたことで、歌詞の意味や場面をイメージしやすかった。題材をスモールステップで授業を進めることができた。 ・物語の文章を書写したことで、理解を深めることができた。 ・物語の感想や思いを選択肢として提示することで、思っていることを引き出すことができた。								

単元シート(高等部3年)

評価シート

画	教科	支援・手立て	評価・メモ	
A	知	中	言葉が表す季節や自然が分かるように、イラストを用意する。	詩の言葉の意味を教師に確認しながら、イラストを選択することで理解を深めることができた。
	思	中	書く内容が分かるように、例文やキーワードを提示する。	教師がキーワードになるヒントを伝えると、自分でイラストを考えることができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	大きな声で詩を読み、内容に合うイラストを進んで並べ替えることができた。
B	知	小3	言葉が表す季節や自然に親しめるように、イラストを用意する。	文章に応じたイラストを用意すると、適切なイラストを選びワークシートに貼ることができた。
	思	小3	文章を書く際に、いくつか選択肢を用意する。	文章を読んで、どんな自分になりたいかを選択肢を用意すると、「ない。」と表現することができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	大きな声で読んだり、視写したりした際に、称賛すると、集中して長い時間取り組むことができた。
C	知	小3	言葉が表す季節や自然に親しめるように、イラストを用意する。	文章に応じたイラストを用意すると、適切なイラストを選びワークシートに貼ることができた。
	思	小3	文章を書く際に、いくつか選択肢を用意する。	文章を読んで、どんな自分になりたいかを選択肢を用意すると、「ない。」と表現することができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	大きな声で読んだり、視写したりした際に、称賛すると、集中して長い時間取り組むことができた。
D	知	小4	文章を読む際に、自然や季節が感じられるようにイラストを提示する。	物語の映像に合わせて「雨だね。」「野菜だよ。」と教師が言いながらイラストを提示すると、映像とイラストを見比べていた。
	思	小4	物語に合うイラストを選択できるようにする。	「野菜」「風」のイラストを選択して掲げることができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	指示された活動に取り組もうとして、正しい姿勢で着席している時間が増えた。
E	知	小4	文章を読む際に、自然や季節が感じられるようにイラストを提示する。	イラストの説明を聞くことができた。
	思	小4	物語に合うイラストを選択できるようにする。	場面に合うイラストを手渡すとしっかりと握ることができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	「お話を聞けたね。」と称賛すると笑顔を見せた。
F	知	小4	文章を読む際に、自然や季節が感じられるようにイラストを提示する。	物語の映像に合わせて「暑そうだね。」「田んぼが見えるね。」と教師が言いながらイラストを提示すると、そのイラストに自分から手を伸ばして触れることができた。
	思	小4	物語に合うイラストを選択できるようにする。	「ごはん」「稲」のイラストを選択して掲げることができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	物語の場面に応じた単語(例:ごはん、おしまい等)を自発的に言うことができた。
G	知	小4	文章を読む際に、自然や季節が感じられるようにイラストを提示する。	詩を読んだときに担当するイラストを確認し介助されながら上にあげることができた。
	思	小4	物語に合うイラストを教師と一緒に選ぶ。	担当するイラストを詩の内容から教師と一緒に選ぶことができた。
	主		主体的に学んでいる様子が見られた時に、称賛する。	イラストを目で追いながら選んだり、詩の朗読を聞くことができたときに称賛すると皆と一緒に取り組み時間が長くなった。
学習評価	知		自然や季節の言葉や、言葉の響きやリズムに親しむことができた。	
	思		物語に親しんだことで、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができた。	
	主		意欲的に取り組んだ際に、称賛することで、書写する量や速度が上がり、意欲的に取り組むことができた。	

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名		高等部3年 国語 「いろいろな言葉に親しもう」 (AB 課程)		T1	遊佐綾子	
	授業日	9月21日(木)	時間	13:10~14:00	場所	3年3組教室	本時

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

- ・生徒数8人(男子4人、女子3人)。全員が知的障害を有し、自閉症や肢体不自由を併せ有する生徒もいる。
- ・教師と言葉でやり取りをできる生徒もいるが、発語が難しく指さしや頷きなどで意思表示を行う生徒もいる。
- ・絵本の読み聞かせでは、聞いた内容を実際に実践することで、絵本への興味や関心を持てるようにしたい。また、絵本にある言葉を学習することで、語彙の幅を広げたいと考えている。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○言葉が持つ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	① ②	(1)

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等				
1. 挨拶(2分)	○教員に注目し、元気に挨拶をする。					
2. 今日の絵本の発表 (3分) 「もりのおふろ」	○今日の絵本の発表をする。 ○興味を持って絵本を見ることができるようになる。また、どんな動物が登場するのかを考えられるようにする。	大型絵本				
3. 読み聞かせ(一斉) 「もりのおふろ」をT1 が読む。 (5分)	○絵本を読むときは、生徒の表情や反応を見ながらゆっくり読む。 ○絵本に注目するように、ページのめくり方を工夫する。					
4. 「もりのおふろ」を実践 してみよう (4分)	○絵本に登場した動物になりきり、体を洗う疑似体験をする。 ○生徒全員を絵本に登場する動物に配役する。 ○生徒が大きな声で掛け声ができるように、教師も言葉掛けをする。	絵本動物 カード				
6. 個別の課題	※A・Bに分かれて個別の課題に取り組む。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;">A</td> <td>○「雨にも負けず」の読み聞かせを聴く。 ・親しみやすいイラストがある朗読動画を用いて視聴する。 ○作ったペープサートを詩の朗読に合わせて、動かしてみよう! ・各自が担当するペープサートの名称(例:雨、風、野菜など)を聞いたり、イラストを見たりしてイメージを持つ。 ・自発的に取り組めるように、教師と一緒にペープサートを動かすなど、適宜支援したりする。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>○雨にも負けず全文をみんなで読んでみよう。 ・詩の前半の場面を確認しながら読んでみよう。</td> </tr> </table>	A	○「雨にも負けず」の読み聞かせを聴く。 ・親しみやすいイラストがある朗読動画を用いて視聴する。 ○作ったペープサートを詩の朗読に合わせて、動かしてみよう! ・各自が担当するペープサートの名称(例:雨、風、野菜など)を聞いたり、イラストを見たりしてイメージを持つ。 ・自発的に取り組めるように、教師と一緒にペープサートを動かすなど、適宜支援したりする。	B	○雨にも負けず全文をみんなで読んでみよう。 ・詩の前半の場面を確認しながら読んでみよう。	
A	○「雨にも負けず」の読み聞かせを聴く。 ・親しみやすいイラストがある朗読動画を用いて視聴する。 ○作ったペープサートを詩の朗読に合わせて、動かしてみよう! ・各自が担当するペープサートの名称(例:雨、風、野菜など)を聞いたり、イラストを見たりしてイメージを持つ。 ・自発的に取り組めるように、教師と一緒にペープサートを動かすなど、適宜支援したりする。					
B	○雨にも負けず全文をみんなで読んでみよう。 ・詩の前半の場面を確認しながら読んでみよう。					

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名		高等部3年 国語「いろいろな言葉に親しもう」 (AB 課程)	T1	遊佐綾子		
	授業日	9月21日(木)	時間	13:10~14:00	場所	3年3組教室	本時

	<p>○詩の内容に合う絵を合わせてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が詩の一文を読んだ後、文に合う絵を選ぶ。 ・絵と文字を合わせることで、文字を意識して学習に取り組むことができようにする。 <p>○詩の各場面を見ながら、全員で読んでみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が読んだ後読みやすいように合図を出す。 <p>○「そういうものにわたしはなりたい」とはどのようになりたいかを考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み、どんな自分になりたいかを考える。 ・「どのようになりたいか」を考えるのが難しそうな時には、あんぱんマンやジャムおじさん、ばいきんマンのキャラクターに例えて考えさせる。 <p>○どんな自分になりたいかを発表してみよう。</p>
7、本時の学習を振り返る。	○今日の授業を振り返りましょう。 ・個人の評価をする。
8、本単元のまとめ	○ワークシートを見ながら今までの学習を振り返る。
9 終わりの挨拶	○教員に注目し、元気に挨拶をする。

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)
<ul style="list-style-type: none"> ・導入の場面で、大型絵本を利用して、物語の一場面をみんなで真似をしたことで、授業の楽しい雰囲気を作ることができた。 ・「雨にも負けず」の内容に触れることができて良かった。 →簡単な題材ではなかったが、日本の代表的な作品に親しむことができた。 ・物語を読んで、「あなたはどのような人になりたいですか。」という質問に答えるワークシートでは、選択肢として身近なキャラクターに例えて提示したことで、それぞれの思いを引き出すことができた。 →選択肢を提示したが「ない。」と答える生徒もいて、自分の意見を確認することができた。

(以下は任意で記入)

主な教材教具	場の設定
大型絵本 絵本に登場する動物カード	<p>○絵本に出てくる動物になりきり、一列に並んで背中をこすってみる。</p>

単元シート(高等部3年)

指導形態名	教科別の指導(国語)	題材・単元名	いろいろな言葉に親しもう(C課程)					
題材・単元の 目 標	(1) 生活の中で使われる慣用句、ことわざ、故事成語の意味を知ったり、古文を音読し言葉の響きやリズムに親しんだりする。また、用紙全体との関係に注意して文字の大きさや配列を決め、その際適切な筆記具を選び書くことができる。[知識及び技能] (2) 慣用句、ことわざ、故事成語を使って伝えたり、テーマを決めて自分の考えをまとめたり表現したりする。[思考力、判断力、表現力等] (3) 言葉が持つ良さを認識するとともに言葉を使って思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付ける。[学びに向かう力、人間性等]							
知	【国語】 【高等部】 【1】	① (ア) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うこと。 ② (キ) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。						
思	【国語】 【高】 【1】	③ ア相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすること。						
主	【国語】 【高】 【1】	④ 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。						
指導期間	6/26-9/27	場所	3-1	時数	6時間	T1	江畑(伊、塩)	
日時	活動内容					評価計画		
						知	思	主
6/26 7/3 11	「はるのうた」を読もう ・「はるのうた」を読解する。 ・場面を想像し、それに応じた読み方を考え、音読する。 ・詩の基本的知識を知る。 ・オノマトペについて知る。					○		○
9/6	オノマトペで表そう ・場面や状況に応じたオノマトペを考える。 ・「はるのうた」の「ケルルンクック」の部分を作成する。						○	
9/13	詩を書こう ・オノマトペを用いた詩を作成する。					○	○	
9/27	詩を発表しよう ・書いた詩を発表し合い、鑑賞する。						○	
<単元の反省> ・「はるのうた」の「ケルルンクック」の部分を作成する場面では、自由な発想が生まれ、それぞれが自分の意見を持つことができた。 ・オノマトペを取り上げたことで、普段の生活で生徒たちの感じていることを引き出すことができた。 ・オノマトペについて考えたことで、色々な表現方法について理解を深めることができた。								

単元シート(高等部3年)

評価シート

番	教科	支援・手立て	評価・メモ	
A	知	高	・始めに教師が示範したり見本を提示したりすることで、教師の少ない言葉掛けで文章を書いたり、読んだりできるようにする。	日常生活で使う「どきどき」「にこにこ」などのオノマトペについて、その使用方法や表現などをしっかりと理解することができた。
	思	高	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分のオノマトペを使用してオリジナルの詩を創作することができた。
	主	高	・オノマトペの紹介の際に実用例なども紹介することで、生活の中で学んだことを生かせるようにする。	積極的に発言をし、また日常生活において、学んだ語句を使用することができた。
B	知	高	・文章を書く際には、接続詞や助詞の使い方に注意するように言葉掛けをする。	オノマトペの性質や使用場面について、理解することができた。
	思	高	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分の日常生活での出来事を題材とし、オノマトペを使って感情を表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	日常生活の中で、学んだ語句を使用することができた。
C	知	高	・始めに聞き取るべき大事な点について提示することで、確認しながら話を聞くことができるようにする。	オノマトペの性質やその使用方法を理解することができた。
	思	高	・既存のオノマトペだけでなく、オリジナルの表現でも良いことを伝え、豊かに言語活動に取り組めるようにする。	自身の好きなキャラクターを題材とした詩を創作し、オリジナルのオノマトペを使って、その様子を豊かに表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	積極的に発言し、自身の考えを堂々と発表することができた。
D	知	中2	・始めに教師が示範したり見本を提示したりすることで、教師の少ない言葉掛けで文章を書いたり、読んだりできるようにする。	オノマトペの性質や使用方法など、基礎的な知識を深めることができた。
	思	高	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	詩の創作では、自分の日常生活のことを題材とし、その瞬間の感情をオノマトペを使って表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	他の生徒の発表に耳を傾け、作品の良いところに気付くことができた。
E	知	高	・始めに教師が示範したり見本を提示したりすることで、教師の少ない言葉掛けで文章を書いたり、読んだりできるようにする。	オノマトペの性質や使用方法など、基礎的な知識を深めることができた。
	思	高	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分のオノマトペを使用してオリジナルの詩を創作することができた。
	主	高	・他者の話の要点を聞き取ったり気持ちをうまく伝えられたりしたときに称賛することで、自らコミュニケーションを取ることに意欲を持てるようにする。	他の生徒の発表に耳を傾け、作品の良いところに気付くことができた。
F	知	高	・教師が課題に対する事例を生活と結び付けながら紙に書き起こして提示したり、友達の意見を参考にしたりして考える時間と書く時間を設定する。	オノマトペの性質や使用方法など、基礎的な知識を深めることができた。
	思	中2	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分のオノマトペを使用してオリジナルの詩を創作することができた。
	主	高	・相手の立場に立った言葉の選択を促し、自分の思いや気持ちを伝えられるような雰囲気を作り出すとともに、仲の良い友達や少人数で話せる機会や環境を整えるようにする。	他の生徒の発表に耳を傾け、作品の良いところに気付くことができた。
G	知	高	・始めに聞き取るべき大事な点について提示することで、確認しながら話を聞くことができるようにする。	オノマトペの性質やその使用方法を理解することができた。
	思	高	・既存のオノマトペだけでなく、オリジナルの表現でも良いことを伝え、豊かに言語活動に取り組めるようにする。	自身の体験を題材とした詩を創作し、感情豊かにオノマトペを使って、その様子を表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	積極的に発言し、自身の考えを堂々と発表することができた。
H	知	高	・教師が課題に対する事例を生活と結び付けながら紙に書き起こして提示したり、友達の意見を参考にしたりして考える時間と書く時間を設定する。	オノマトペの性質やその使用方法を理解することができた。
	思	中2	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自身の興味ある分野を題材とした詩を創作し、オリジナルのオノマトペを使って、その様子を豊かに表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	積極的に発言し、自身の考えを堂々と発表することができた。
I	知	中1	・教師が課題に対する事例を生活と結び付けながら紙に書き起こして提示したり、友達の意見を参考にしたりして考える時間と書く時間を設定する。	オノマトペの性質や使用方法など、基礎的な知識を深めることができた。
	思	中1	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分のオノマトペを使用してオリジナルの詩を創作することができた。
	主	中1	・他者の話の要点を聞き取ったり気持ちをうまく伝えられたりしたときに称賛することで、自らコミュニケーションを取ることに意欲を持てるようにする。	他の生徒の発表に耳を傾け、作品の良いところに気付くことができた。
J	知	高	・始めに聞き取るべき大事な点について提示することで、確認しながら話を聞くことができるようにする。	日常生活で使う「どきどき」「にこにこ」などのオノマトペについて、その使用方法や表現などをしっかりと理解することができた。
	思	高	・既存のオノマトペだけでなく、オリジナルの表現でも良いことを伝え、豊かに言語活動に取り組めるようにする。	自身の興味ある分野を題材とした詩を創作し、オノマトペを使って、その様子を豊かに表現することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	積極的に発言し、自身の考えを堂々と発表することができた。
知	高	・始めに聞き取るべき大事な点について提示することで、確認しながら話を聞くことができるようにする。	日常生活で使う「どきどき」「にこにこ」などのオノマトペについて、その使用方法	

単元シート(高等部3年)

K	思	高	・既存のオノマトペだけでなく、オリジナルの表現でも良いことを伝え、豊かに言語活動に取り組めるようにする。	や表現などをしっかりと理解することができた。
	主	高	・学んだ言語表現を活用する場面を設定し、思いや考えを伝えることができるようにする。	自身の興味ある分野を題材とした詩を創作し、オノマトペを使って、その様子を豊かに表現することができた。
L	知	中	・教師が課題に対する事例を生活と結び付けながら紙に書き起こして提示したり、友達の意見を参考にしたりして考える時間と書く時間を設定する。	オノマトペの性質や使用方法など、基礎的な知識を深めることができた。
	思	中	・なかなか書き出すことが難しい設問のときは、「例えば〇〇の時だったらどう考えますか。」など具体的な例を用いて考えるよう助言する。	自分のオノマトペを使用してオリジナルの詩を創作することができた。
	主	中	・他者の話の要点を聞き取ったり気持ちをうまく伝えられたりしたときに称賛することで、自らコミュニケーションを取ることに意欲を持てるようにする。	他の生徒の発表に耳を傾け、作品の良いところに気付くことができた。
学習評価	知	生活の中で使われるオノマトペについて理解を深め、言語活動の中で使うことができた。		
	思	オノマトペなどの表現に関する事項を、詩の創作などの活動に取り入れ、豊かに表現することができた。		
	主	学んだ言語表現を積極的に活用し、また日常生活の中でも活用することができた。		

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名			高等部3年 国語「いろいろな言葉に親しもう」 (C 課程)	T1	江畑(伊、塩)
	授業日	9月6日(水)	時間	13:10-14:00	場所	3年1組教室
				本時	4時間/6時間	

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について

本学習集団は、男子9名、女子3名、計12名で構成されており、全員が知的障害を有し、その他ADHD、自閉症などを併せ有する生徒が所属している。

学習面では、一度の説明で内容を理解できる生徒と繰り返し説明を必要とする生徒がおり、指示の理解の程度には差がある。そのため、一斉指導した後、机間指導で個別対応をしている。

日常生活により深く関わった語句を取り上げ、表現する経験を積み重ねることで、我が国の言語文化に親しもうとする意欲を高め、学習した内容を日常生活や卒業後の進路先で生かすことができるようにしたい。

本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ オノマトペについて、意味や特徴を知り、響きに親しむことができる。 [知識及び技能] ○オノマトペを状況や内容に合わせて使ったり、自分の考えを伝えたりできる。 [思考力、判断力、表現力等] ・ オノマトペに関心を持ち、実際に使って表現しようとする。 [学びに向かう力、人間性等] 	②	③

学習活動(時間)	○手立て ・留意点	準備物等
1. 始めの挨拶をする。	・教師に注目をし、姿勢を正して挨拶するように言葉掛けをする。	
2. 前回の学習内容を振り返る。	○前回使った「はるのうた」のプリントを出すよう指示する。 ・前회가夏休みの前だったことを踏まえ、生徒が思い出せるように働き掛ける。 ○「はるのうた」を音読し、詩の中のオノマトペについて触れる。 ・前回オノマトペについて少し触れたことを思い出せるように働き掛ける。	
3. 本時の学習内容を確認する	○オノマトペで表そう。	
4. オノマトペについて学習する。	○オノマトペの基本事項について説明する。 ・擬音語、擬態語の区別がつくように、具体例を用いながら説明する。	
5. 場面・状況に応じたオノマトペを考える。	○LINEスタンプを用い、スタンプの場面や状況に合うオノマトペとその理由を、プリントに書くよう指示する。 ・既存の表現だけでなく創作したオノマトペでも良いことを伝える。 ・1つだけでも埋められるように言葉掛けをする。	

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名			高等部3年 国語「いろいろな言葉に親しもう」 (C 課程)	T1	江畑(伊、塩)
	授業日	9月6日(水)	時間	13:10-14:00	場所	3年1組教室
					本時	4時間/6時間

<p>6. 自分の考えたオノマトペを発表する。</p> <p>7. 「はるのうた」の「ケルルンクック」の部分のオノマトペを考える。</p> <p>8. 自分の考えたオノマトペを発表する。 (発表する生徒を指名する。)</p> <p>9. 本時の学習内容を振り返る</p> <p>10. 次の学習内容を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正解はないことを伝え、自由な発想で考えやすくする。 ・5の活動中に発表する生徒を選んでおく。 ・多様な意見を紹介できるように指名する。 ・発表した生徒に対し称賛する。 ・既存の表現だけではなく創作したオノマトペでも良いことを伝える。 ・詩の中には他にもオノマトペがあるが、テーマに合ったオノマトペを考えるという活動になるように、最も感情が表現されている「ケルルンクック」の部分扱う。 ・時間や状況を見て「怒っているとしたら」など別の感情も考える活動を入れる。 ・正解はないことを伝え、自由な発想で考えやすくする。 ・7の活動中に発表する生徒を選んでおく。 ・多様な意見を紹介できるように指名する。 ・発表した生徒に対し称賛する。 ・オノマトペとは音や様子を表現する言葉の総称であること。 ・オノマトペを使うことで微妙な心情の違いを表現できること。 ・次時で、詩を書くことを伝える。 	
--	--	--

本時の評価 (各教科等の学習評価の視点も踏まえ)
オノマトペについて、意味や特徴を知り、状況や内容に合わせて使ったり、自分の考えを伝えたりできた。

単元シート(高等部 農芸班)

指導形態名	作業学習（農芸班）	題材・単元名	作業製品バザーに向けて					
題材・単元の 目 標	質の高い製品作りを目指すことで、農業に対する関心・意欲を高める。 ① 具体的な作業をとおして、手順が分かり、集中して作業に取り組む。 ② 場に応じた適切なやり取りを仲間や教師と行う。 ③ 作業に合った服装や手順、道具の使い方を知り、適切に扱う。							
知	①国高1	(ア) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。						
	②社高1	㉞ 地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けること。						
	③職高1	㉟ 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けること。						
思	④国高1	ア 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことを中心に注意して聞き、話の内容を捉えること。						
	⑤社高1	㉠ 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。						
	⑥職高1	㉡ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ること。						
主	⑦職高1	(ウ) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むこと。						
指導期間	12～1月	場所	集会室／畑	時数	28時間	T1	富士原（中川、木村、新家、千葉、早坂）	
日時	活動内容					評価計画		
						知	思	主
12月～1月	作業製品バザーに向けて 野菜等の栽培 ・種まき、定植、水やり、畝立て、除草、中耕、収穫、袋詰めを行う。 ※別紙 作付け計画参照 作業製品（腐葉土）の準備 ・腐葉土の不純物を取り除く ・乾燥させる ・袋詰め ・ラベル貼り バザー ・作業製品や野菜等の販売を行う。 ・接客する際の対応や言葉遣いを意識する。 ・金銭のやり取りを経験する。 それぞれの作業や活動の中で、報告、連絡、相談を意識できるように全体で確認したり、個別の活動場面で言葉掛けをしたりする。 ※作業計画は、天候や野菜の生育状況、進捗を確認しながら週の初めに予定を立てている。					0	0	0

単元シート(高等部 農芸班)

<単元の反省>

【作業製品作り】

腐葉土

- 作業工程が分かりやすく、取り組みやすかった。
- 作業難易度もそれほど高くなく、協力して行う場面があったり、一定時間集中して行う場面があったりして良い活動だった。

ドライフラワー素材

- 工程を組んで、分担して作業に取り組むことができた。
- ▲次年度は、なしの方向。→花の栽培がない？

小松菜の栽培

- 生徒が、畑作りから携わることができて、成就感を味わうことができたと思う。
- 耕耘機の使用を経験させることができ、生徒によっては一人で扱うことができる程度になった。
- 播種では、細かい種を一定時間集中して行わなければならないため、作業能力を高める良い機会となった。
- ▲道具の扱い方や、播種のやり方など、言葉の説明が多かったか。→生徒が考えて行う場面を少なかった。

バザー

- どの野菜も、概ね生徒が関わることができたため、商品理解度が高く販促活動につなげることができた。
- ▲天候の影響で、小松菜を販売することができなかった。

評価シート

Aグループ

個	教科	支援・手立て	評価・メモ
A	知 社高	作業を確実に効率良く取り組むために教師に報告、連絡、相談をするように言葉掛けをする。	促しが必要などときがあったが、協力して取り組むことができた。
	思 国高	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き作業する経験を積む。	指示を聞いて丁寧にに取り組むことができた。
	主 職高	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みようと意識することができるようにする。	ホースが折れて水が出にくくなっていたときの対処法を教えると、次からは自分から気付いて持ち方を工夫することができた。
B	知 職高	農作業を通して手順通りに行う大切さを理解できるように、野菜の栽培や収穫、道具の扱い方などを体験する。	正しい手順を聞いて作業に取り組むことができた。
	思 国高	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き、丁寧に作業する経験を積む。	落ち葉が木柵からはみ出ないように足の動きを意識して踏む工程に取り組むことができた。
	主 職高	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みようと意識することができるようにする。	指示を聞いて丁寧に取り組むことができた。後片付けに進んで取り組み、分からないことがあると教師に聞いて最後まで取り組むことができた。
C	知 社高	作業を確実に効率良く取り組むために教師に報告、連絡、相談をするように言葉掛けをする。	作業工程を教師に確認してから取り組むことができた。
	思 国高	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き、丁寧に作業する経験を積む。	落ち葉が木柵からはみ出ないように足の動きに注意して取り組むことができた。四隅に固まっている落ち葉を意識して踏むことができた。
	主 職高	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みようと意識することができるようにする。	指示を聞いて丁寧に取り組むことができた。教師の指示に「はい。」と返事をして次の工程を意識して行うことができた。
D	知 社中2	教師の模倣をして一緒に作業をすることで、活動に見通しが持てるようにする。	教師を模倣して一緒に取り組むことができた。
	思 国高	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き、教師と一緒に作業する経験を積む。	役割や使用する道具がはっきりすると集中して取り組むことができた。教師を模倣して落ち葉の中にある枝を取り除くことができた。
	主 職高	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みようと意識することができるようにする。	教師の言葉掛けを聞いて、最後まで取り組むことができた。
E	知 社高	教師の示範を見て活動に見通しを持つことができるようにする。	教師を模倣して一緒に取り組むことができた。
	思 国高	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き、落ち着いて作業する経験を積む。	役割や使用する道具がはっきりすると集中して取り組むことができた。バケツに溜まった枝を収集場所に捨てることができた。
	主 職高	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みようと意識することができるようにする。	指示を聞いて丁寧に取り組むことができた。教師の指示に「はい。」と返事をし、苦手な作業動作にも根気強く取り組むことができた。
F	知 社高	教師の模倣をして一緒に作業をすることで、活動に見通しが持てるようにする。	教師を模倣して一緒に取り組むことができた。

単元シート(高等部 農芸班)

思 主	国中2	作業の内容や指示、詳しい工程の説明を聞き、教師と一緒に作業する経験を積む。	役割や使用する道具がはっきりすると集中して取り組むことができた。 教師を模倣して堆肥を蒔くことができた。
	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て、最後まで丁寧に取り組もうと意識することができるようにする。	教師の言葉掛けを聞いて、最後まで取り組むことができた。

Bグループ

個	教科	支援・手立て	評価・メモ
G	知 職高2	教師の示範を見て活動に見通しを持ち、注意する点やコツに気を付けることができるようにする。	乾いた腐葉土を選別する、腐葉土をビニール袋に入れる、袋から空気を抜いて袋の中に均一に土が入るようにするという作業を教師が示範することで、活動に見通しを持つことができた。また、腐葉土に余分な物が入っていないか注意したり、丁寧に袋から全ての空気が抜くことができるように仕事をしたりと、細かいところまで気を遣い、作業をすることができた。
	思 社高1	作業の全体説明を行ってから作業に取り組むことで、自分の役割を果たし、状況を判断して次の行動に移ることができるようにする。	作業の最初の始まるミーティングで各グループの本時の活動内容を連絡することで、作業内容の把握をすることができた。また、グループで活動に取り組む前にも、「土の袋詰めを行う、余分な物があれば取り除く、袋詰めが終わったらかごに入れて校舎まで持って行く。」と、全体の流れを本人に伝えることで、作業に集中し焦らずスムーズに取り組むことができた。
	主 職高2	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組もうと意識することができるようにする。	作業中や作業の終わりに「丁寧にできたね。助かります。」「落ち着いてきたね。」と本人を称賛したり、反省会で袋詰めた腐葉土をメンバーに見せながら全体の前で称賛することで、落ち着いて丁寧に作業できたことに達成感を感じることができた。
H	知 職中2	教師の示範を見たり、教師と一緒に作業を行ったりすることで活動に見通しを持つことができるようにする。	パレットに腐葉土を入れる、入れた腐葉土をならす、パレットを静かに乾燥棚に置くという作業を教師が示範することで、活動に見通しを持つことができた。また、一緒に作業に取り組むことで丁寧に取り組もうと意識することができた。
	思 職中1	教師と一緒に作業をして、丁寧な作業に慣れるようにする。作業に慣れてきた際は見守りをするので、1人でも責任を持って丁寧に仕事を行うことを意識できるようにする。	丁寧に作業を行うことができた際は「丁寧にできたね。」と本人を称賛した。丁寧にできなかった際はもう一度同じ作業を行ったり、手を添えて一緒に作業を行ったりすることで丁寧に行わなくてはいけないことを意識付けした。称賛と意識付けを繰り返し行うことで力を入れすぎることなく、丁寧に仕事ができることが増えてきた。
	主 職中2	作業を丁寧にすることができたときは称賛することで達成感を得て、丁寧に作業することの大切さを感じることができるようにする。	丁寧に作業を行うことができた際は「丁寧にできたね。」と本人を称賛した。繰り返し称賛することで、落ち着いて作業をする時間が増え、丁寧に作業をすることが必要だと感じることができてきた。
I	知 職高2	教師の示範を見て活動に見通しを持ち、注意する点やコツに気を付けることができるようにする。	スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く、という作業を教師が示範することで活動に見通しを持つことができた。
	思 社高1	作業の全体説明を行ってから作業に取り組むことで、自分の役割を果たし、状況を判断して次の行動に移ることができるようにする。	作業の最初の始まるミーティングで各グループの本時の活動内容を連絡することで、作業内容の把握をすることができた。また、グループで活動に取り組む前にも、「スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く。」と、全体の流れを本人に伝えることで、作業に集中し焦らずスムーズに取り組むことができた。
	主 職高2	作業に最後まで取り組むことができたり、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組もうと意識することができるようにする。	作業中や作業の終わりに「丁寧にできたね。助かります。」と本人を称賛したり、反省会で袋詰めた腐葉土をメンバーに見せながら全体の前で称賛することで、丁寧に作業できたことに達成感を感じることができた。
J	知 職高1	教師の示範を見て活動に見通しを持つことができるようにする。	スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く、という作業を教師が示範することで活動に見通しを持つことができた。
	思 社高1	作業の全体説明を行ってから作業に取り組むことで、自分の役割を果たし、状況を判断して次の行動に移ることができるようにする。	作業の最初の始まるミーティングで各グループの本時の活動内容を連絡することで、作業内容の把握をすることができた。また、グループで活動に取り組む前にも、「スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く。」と、全体の流れを本人に伝えることで、作業に集中し焦らずスムーズに取り組むことができた。
	主 職高2	作業に意欲的に取り組むことができたり、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組もうと意識することができるようにする。	作業中や作業の終わりに「丁寧にできたね。頑張ったね。」と本人を称賛したり、反省会で袋詰めた腐葉土をメンバーに見せながら全体の前で称賛することで、丁寧に作業できたことに達成感を感じることができた。
K	知 職高1	教師の示範を見て活動に見通しを持つことができるようにする。	スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く、という作業を教師が示範することで活動に見通しを持つことができた。
	思 社高1	作業の全体説明を行ってから作業に取り組むことで、自分の役割を果たし、状況を判断して次の行動に移ることができるようにする。	作業の最初の始まるミーティングで各グループの本時の活動内容を連絡することで、作業内容の把握をすることができた。また、グループで活動に取り組む前にも、「スコップを使って腐葉土に余分な物が混ざっていないか細かく確認する、石や枝はざるに入れる、ミズはピンセットで取り除く。」と、全体の流れを本人に伝えることで、作業に集中し焦らずスムーズに取り組むことができた。

単元シート(高等部 農芸班)

	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	作業中や作業の終わりに「丁寧にできたね。頑張ったね。」と本人を称賛したり、反省会で袋詰めした腐葉土をメンバーに見せながら全体の前で称賛することで、丁寧に作業できたことに達成感を感じる事ができた。
--	---	-----	---	---

Cグループ

個	教科	支援・手立て	評価・メモ	
L	知	社高1	活動場面で、ペアで作業する工程を意図的に設定し、お互いが役割を果たしながら協力できるように言葉掛ける。	小松菜の播種を2人1組で行った。工程をよく理解し、ペアで適切に声を掛け合いながら、効率良く作業することができた。
	思	国高1	教師の作業内容の指示や詳しい工程の説明を聞き作業する経験を積む。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方が分からない友達に対して、教えることができた。
	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。
M	知	社高1	活動場面で、ペアで作業する工程を意図的に設定し、お互いが役割を果たしながら協力できるように言葉掛ける。	小松菜の播種を2人1組で行った。工程をよく理解し、ペアで適切に声を掛け合いながら、効率良く作業することができた。
	思	国高1	教師の作業内容の指示や詳しい工程の説明を聞き作業する経験を積む。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方に迷う部分があれば、適切に教師に相談することができた。
	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。
N	知	社高1	活動場面で、ペアで作業する工程を意図的に設定し、お互いが役割を果たしながら協力できるように言葉掛ける。	小松菜の播種を2人1組で行った。工程をよく理解し、ペアで適切に声を掛け合いながら、効率良く作業することができた。
	思	国高1	教師の作業内容の指示や詳しい工程の説明を聞き作業する経験を積む。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方に迷う部分があれば、適切に教師に相談することができた。
	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。
O	知	職高1	農作業を通して手順通り行う大切さを理解できるように、野菜の栽培や収穫方法や、道具の扱い方などを正しく行うよう言葉掛ける。	畑を耕す際に、耕耘機を使用した。教師の説明や示範をよく理解し、適切に扱うことができた。試行錯誤しながら、コツをつかんで操作することができた。
	思	社高1	活動場面で、ペアで作業する工程を意図的に設定し、お互いが役割を果たしながら協力できるように言葉掛ける。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方に迷う部分があれば、適切に教師に相談することができた。
	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。
P	知	職高2	教師の示範を見て活動に見通しを持ち、注意する点やコツに気を付けることができるようにする。	小松菜の播種を2人1組で行った。工程をよく理解し、ペアで適切に声を掛け合いながら、効率良く作業することができた。
	思	社高1	作業の全体説明を行ってから作業に取り組むことで、自分の役割を果たし、状況を判断して次の行動に移ることができるようになる。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方に迷う部分があれば、適切に教師に相談することができた。
	主	職高2	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。
Q	知	職高1	農作業を通して手順通り行う大切さを理解できるように、野菜の栽培や収穫の方法や、道具の扱い方などを正しく行うよう言葉掛ける。	小松菜の播種を2人1組で行った。工程をよく理解し、ペアで適切に声を掛け合いながら、効率良く作業することができ、長い時間集中して取り組むことができた。
	思	職高1	作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることを意識できるよう言葉掛ける。	教師の説明をよく聞き、作業工程を理解することができた。また、やり方に迷う部分があれば、適切に教師に相談することができた。
	主	職高1	作業に落ち着いて取り組むことができたときや、丁寧に作業ができたときは称賛することで、達成感を得て最後まで丁寧に取り組みよう意識することができるようにする。	適切に声を掛け合って作業していることや、必要に応じて教師に相談しながら作業することを称賛すると、更に意欲的に作業に取り組むことができた。

学習評価	知	小松菜の栽培や腐葉土の製品化を通して、道具の扱い方、野菜栽培の知識や手順について理解を高めることができ、職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができた。
	思	場面に応じて、ペアやグループ活動をすることができ、生徒同士や教師に適切に相談して主体的に作業を進める場面が見られた。状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができた。
	主	小松菜の栽培を畑作りから経験することで、収穫、販売への期待感を持ってたことで主体的に作業に取り組むことができた。また、報告、連絡、相談を、主体的に適切な場面でできるようになった。

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名			高等部 作業学習(農芸班) 「作業製品パザーに向けて」(Cグループ)	T1	富士原(中川、木村、新家、千葉、早坂)
	授業日	12月14日(木)	時間	10:25-12:10	場所	集会室/畑

本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について		
<p>本学習集団に所属する6人の生徒は、全員が知的障害を有している。他に、自閉症を合わせ有する生徒もいる。いずれも一般就労を目指しているため、就業生活に必要な力として報告、連絡、相談を身に付けることができるように指導している。また、自分で考えて作業に取り組めるよう、活動に見通しを持つことができるようにするとともに、生徒の行動を尊重し最低限の支援を心掛けている。</p>		
本時の目標	関連する単元の目標	関連する資質・能力
○適切に報告、相談、連絡を行い作業に取り組む。	①②③	①②④⑥

学習活動(時間)	○手立て・留意点	準備物等
1、始まりのミーティング	<p>※集会室に入った生徒から、日誌を記入する。</p> <p>○次第に沿って、日直の生徒が司会となって進める。</p> <p>○「先生の話」で作業の詳しい内容を全体に説明する。</p>	
2、主活動	<p>※3グループに分かれて活動を行う。</p> <p>Cグループは、種まきを行う。</p> <p>① 畝に印を付ける。</p> <p>・種をまく、間隔を測ったり、道具を使って間隔にするようにしたりし印を付ける。</p> <p>② 種をまく。</p> <p>・くぼみに2~3粒まく。</p> <p>※それぞれ、やり方が分かるように説明や示範を行う。</p>	
※11:05~11:15頃に休憩を入れる。		
3、終わりのミーティング	<p>○次第に沿って、日直の生徒が司会となって進める。</p> <p>○班ごとに代表生徒が感想を発表する。</p> <p>○「先生の話」で本日の作業についての良かった点や反省点を伝える。</p>	

本時の評価	(各教科等の学習評価の視点も踏まえ)
<p>○適切に報告、連絡、相談を行うことができた。</p> <p>○ペアになって活動し「種を蒔く」「土をかける」「水を掛ける」の工程の分担や工夫を生徒同士で考えて、協力して作業に取り組むことができた。</p> <p>○作業の進捗状況や作業工程で迷うことなどは、適切に教師に報告したり相談したりすることができた。</p>	